

株 主 各 位

東京都中央区日本橋小舟町8番1号
株式会社あかつき本社
代表取締役社長 島 根 秀 明

第70回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第70回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

なお、当日のご出席に代えて、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2020年6月25日（木曜日）午後5時30分までに到着するようご送付くださいますようお願い申しあげます。

敬 具

記

- | | | |
|---------|------|---|
| 1. 日 | 時 | 2020年6月26日（金曜日）午前10時 |
| 2. 場 | 所 | 東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号 東京証券会館9階 会議室 (会場が前回と異なっておりますので、ご来場の際は、末尾のご案内図をご参照のうえ、お間違えのないようご注意ください。) |
| 3. 目的事項 | 報告事項 | 1. 第70期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第70期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類報告の件 |
| | 決議事項 | 第1号議案 剰余金の処分の件 第2号議案 監査等委員でない取締役7名選任の件 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件 |

以 上

~~~~~  
＜株主様へのお願い＞

新型コロナウイルス感染症の予防等のため、郵送による議決権の事前行使をご考慮頂ければと存じます。  
株主総会へのご出席を検討されている株主様におかれましては、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、マスク着用などの感染予防にご配慮いただき、ご来場くださいますようお願い申しあげます。

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。

株主総会参考書類ならびに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス<http://www.akatsuki-fg.com/>）に掲載させていただきます。

なお、株主総会にご出席の株主様へのお土産の配布はございません。

(提供書面)

## 事業報告

( 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで )

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 当事業年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及びその成果

当連結会計年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）において、当社グループは以下のような取り組みを行ってまいりました。

証券関連事業では、あかつき証券㈱において、上半期における米中貿易摩擦の影響により低調なマーケット環境であったことから、委託手数料は1,252百万円（前期比6.2%減）であったものの、外国債券のトレーディング損益が2,863百万円（前期比222.4%増）と大幅に拡大したことで、営業収益、セグメント利益ともに増加いたしました。注力している金融商品仲介（以下、「IFA」といいます。）ビジネスでは、契約仲介業者数が前期末の53社から72社へと拡大し、仲介業者の預り資産残高についても大幅に増加いたしました。また、あかつき証券㈱が100%子会社として設立したジャパンウェルスアドバイザーズ㈱は、IFAとして事業を開始しており、今後新たに独立するIFAの受け皿となることで預り資産拡大を図ります。

この結果、証券関連事業の業績は以下のとおりとなりました。

(証券関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

|         | 2019年3月期<br>連結会計年度 | 2020年3月期<br>連結会計年度 | 増減率   |
|---------|--------------------|--------------------|-------|
| 営業収益    | 3,559              | 5,126              | 44.0% |
| セグメント利益 | 1                  | 356                | －%    |

不動産関連事業では、㈱マイプレイスにおいて、主力の一次取得者層向けの中古マンションの販売戸数に関しては、前期第4四半期（2019年1月から3月）は空室物件（後記「タイプA」）の長期在庫圧縮を実施したことにより216戸と大幅に増加しましたが、当期第4四半期（2020年1月から3月）は在庫数の正常化に伴い157戸と減少に転じ、当該影響により年間の販売戸数は694戸（前期比30戸減）となりました（四半期ごとの販売戸数の推移については、後記「補足情報」をご参照ください。）。利益面に関しては、上記長期在庫の圧縮による影響が改善された一方で、前期における大型案件の売却利益が剥落した結果、売上高は25,022百万円（前期比8.7%減）、経常利益は1,381百万円（前期比23.1%減）となりました。そのほか、子育て中の家族構成を想定した新企画マンション「cotosumu(コトスム)」の販売を開始するなど、商品ラインナップの拡充を図りました。また、管理面では不動産市況・金融情勢の変化に対応し、仕入決済基準の整備・運用、在庫リスクマネジメントの強化、及び財務基盤の強化を進めております。

EWアセットマネジメント㈱においては、4月に「兵庫県西宮市上甲東園」の土地を購入し、住宅型有料老人ホームの開発に着手しました。本施設は、優良介護事業者と既に長期の賃貸借予約契約を締結しており、2021年6月予定の竣工・稼働後は安定的な収益が見込まれます。また、12月に川越市に保有する施設を、2020年1月に枚方市及び横須賀市に保有する施設を売却いたしました。

このほか、不動産関連事業においては、当社及び㈱マイプレイスの保有する不動産の評価の結果、当連結会計年度において1億円強の販売用不動産評価損を計上いたしました。

この結果、不動産関連事業の業績は以下のとおりとなりました。  
(不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

|         | 2019年3月期<br>連結会計年度 | 2020年3月期<br>連結会計年度 | 増減率    |
|---------|--------------------|--------------------|--------|
| 営業収益    | 32,468             | 29,516             | △9.1%  |
| セグメント利益 | 2,939              | 2,048              | △30.3% |

これらの結果、当社グループの当連結会計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。  
(単位：百万円)

|                     | 2019年3月期<br>連結会計年度 | 2020年3月期<br>連結会計年度 | 増減率    |
|---------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 営業収益                | 35,737             | 34,423             | △3.7%  |
| 営業利益                | 1,806              | 1,594              | △11.7% |
| 経常利益                | 1,355              | 1,094              | △19.2% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,031              | 1,417              | 37.5%  |

なお、㈱マイプレイスの単体業績は、当社連結業績に特に重要な影響があるため、以下、補足情報として開示いたします。

(補足情報)

㈱マイプレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っておりますが、①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。

(a) ㈱マイプレイス単体の経営成績 (四半期会計期間毎)

(単位：百万円)

|       | 2019年3月期     |              |                |              | 2020年3月期     |              |                |              |
|-------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
|       | 1Q<br>(4~6月) | 2Q<br>(7~9月) | 3Q<br>(10~12月) | 4Q<br>(1~3月) | 1Q<br>(4~6月) | 2Q<br>(7~9月) | 3Q<br>(10~12月) | 4Q<br>(1~3月) |
| 売上高   | 5,777        | 6,797        | 7,282          | 7,545        | 6,362        | 6,523        | 6,383          | 5,753        |
| 経常利益  | 334          | 385          | 610            | 465          | 310          | 421          | 355            | 294          |
| 当期純利益 | 336          | 261          | 421            | 326          | 207          | 290          | 233            | 204          |

(b) 仕入の状況（四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。）

(単位：戸)

|      | 2019年3月期     |              |                |              | 2020年3月期     |              |                |              |
|------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
|      | 1Q<br>(4~6月) | 2Q<br>(7~9月) | 3Q<br>(10~12月) | 4Q<br>(1~3月) | 1Q<br>(4~6月) | 2Q<br>(7~9月) | 3Q<br>(10~12月) | 4Q<br>(1~3月) |
| タイプA | 159<br>(+3)  | 147<br>(△14) | 139<br>(△27)   | 130<br>(△45) | 125<br>(△34) | 167<br>(+20) | 111<br>(△28)   | 120<br>(△10) |
| タイプB | 46<br>(+17)  | 50<br>(△2)   | 54<br>(△51)    | 90<br>(+39)  | 62<br>(+16)  | 75<br>(+25)  | 25<br>(△29)    | 53<br>(△37)  |
| 合計   | 205<br>(+20) | 197<br>(△16) | 193<br>(△78)   | 220<br>(△6)  | 187<br>(△18) | 242<br>(+45) | 136<br>(△57)   | 173<br>(△47) |

(c) 販売の状況（四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。）

(単位：戸)

|      | 2019年3月期     |              |                |              | 2020年3月期     |              |                |              |
|------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
|      | 1Q<br>(4~6月) | 2Q<br>(7~9月) | 3Q<br>(10~12月) | 4Q<br>(1~3月) | 1Q<br>(4~6月) | 2Q<br>(7~9月) | 3Q<br>(10~12月) | 4Q<br>(1~3月) |
| 販売戸数 | 162<br>(+48) | 170<br>(-)   | 176<br>(+39)   | 216<br>(+69) | 189<br>(+27) | 172<br>(+2)  | 176<br>(-)     | 157<br>(△59) |

(d) 在庫の状況（四半期会計期間末）

(単位：戸)

|      | 2019年3月期    |             |              |             | 2020年3月期    |             |              |             |
|------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
|      | 1Q<br>(6月末) | 2Q<br>(9月末) | 3Q<br>(12月末) | 4Q<br>(3月末) | 1Q<br>(6月末) | 2Q<br>(9月末) | 3Q<br>(12月末) | 4Q<br>(3月末) |
| タイプA | 426         | 418         | 398          | 335         | 292         | 322         | 277          | 266         |
| タイプB | 416         | 451         | 488          | 555         | 590         | 630         | 635          | 662         |
| 合計   | 842         | 869         | 886          | 890         | 882         | 952         | 912          | 928         |

② 資金調達の様況

当社は、当社グループの中核事業である証券・不動産等のグループ関連事業強化のための投融資費用として、以下の資金調達を実施いたしました。

(社債による資金調達)

(株)あかつき本社第15回無担保社債(株)あかつき本社第8回無担保社債償還資金に充当)、16回無担保社債(第10回無担保社債償還資金に充当)、17回無担保社債(第9回無担保社債償還資金に充当)の発行による資金調達を行っております。当連結会計年度における、社債による資金調達の状況は、下表のとおりです。

| 会社名 | 区分        | 調達金額     | 払込期日       |
|-----|-----------|----------|------------|
| 当社  | 第15回無担保社債 | 1,000百万円 | 2019年4月26日 |
| 当社  | 第16回無担保社債 | 1,000百万円 | 2019年6月12日 |
| 当社  | 第17回無担保社債 | 1,000百万円 | 2019年6月26日 |

③ 重要な企業再編等の状況

特記すべき事項はありません。

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

| 区分                  | 第67期<br>(2017年3月期) | 第68期<br>(2018年3月期) | 第69期<br>(2019年3月期) | 第70期<br>(当連結会計年度)<br>(2020年3月期) |
|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------------------|
| 営業収益(千円)            | 4,312,220          | 22,650,044         | 35,737,177         | 34,423,480                      |
| 経常利益(千円)            | 421,715            | 1,786,502          | 1,355,640          | 1,094,694                       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 239,144            | 1,715,848          | 1,031,007          | 1,417,765                       |
| 1株当たり当期純利益          | 15円91銭             | 93円01銭             | 39円84銭             | 46円40銭                          |
| 総資産(千円)             | 27,868,100         | 53,498,412         | 54,544,609         | 58,794,749                      |
| 純資産(千円)             | 9,027,872          | 12,467,587         | 12,400,085         | 13,473,396                      |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均の発行済株式から自己株式数を控除した数により算出しております。

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

① 親会社の状況

該当事項はありません。

## ② 重要な子会社の状況

| セグメント       | 会社名                | 当社の議決権比率   | 主要な事業内容               |
|-------------|--------------------|------------|-----------------------|
| 証券関連事業      | あかつき証券(株)          | 100.0%     | 証券業                   |
|             | ジャパンウェルスアドバイザーズ(株) | 100.0% (※) |                       |
|             | トレード・サイエンス(株)      | 100.0%     | アルゴリズム開発・システムトレーディング  |
|             | (株)あかつきキャピタル       | 100.0%     |                       |
|             | リードウェイ(株)          | 98.9%      |                       |
| 不動産関連事業     | (株)あかつき投資          | 100.0%     | 中古不動産の再生<br>リノベーション事業 |
|             | (株)マイプレイス          | 100.0% (※) |                       |
|             | (株)バウテック           | 100.0% (※) |                       |
|             | (株)マイプランナー         | 100.0% (※) |                       |
|             | (株)あかつきTEインベストメント  | 100.0% (※) |                       |
|             | EWアセットマネジメント(株)    | 72.8%      | 高齢者住宅の開発・賃貸           |
|             | 合同会社さつき            | 100.0%     |                       |
|             | 特定目的会社なぎさ          | 100.0% (※) |                       |
|             | 合同会社みよし            | 100.0% (※) |                       |
|             | 合同会社よすみ            | 100.0% (※) |                       |
|             | 合同会社ふたば            | 100.0% (※) |                       |
|             | 合同会社はまの            | 100.0% (※) |                       |
|             | 合同会社こうとう           | 100.0% (※) |                       |
|             | 合同会社おうぎ            | 100.0% (※) |                       |
|             | (株)マイトランク          | 100.0%     |                       |
| (株)テッククリエイト | 98.0%              | 不動産の賃貸・売買  |                       |

- (注) 1. 上記に掲げた重要な子会社である連結子会社は21社、持分法適用会社は1社であります。
2. 議決権比率欄の※印は、間接保有を含んでおります。
3. (株)マイプレイスは、2020年1月21日付で(株)トータルエステートから社名変更したものであります。
4. (株)バウテックは、2020年1月21日付で(株)トータルテックから社名変更したものであります。
5. (株)マイプランナーは、2020年1月21日付で(株)トータルエステート住宅販売から社名変更したものであります。
6. 合同会社こうとうは、2019年4月に、当社の出資により連結の範囲に含めております。
7. ジャパンウェルスアドバイザーズ(株)は、2019年9月に、新規設立により連結の範囲に含めております。
8. (株)テッククリエイトは、2019年10月に、株式取得により連結の範囲に含めております。
9. 合同会社かさいは2019年12月に、清算終了し、連結の範囲から除外しております。
10. 当事業年度末日における特定完全子会社の状況は、次のとおりであります。

| 会社名       | 住所                      | 帳簿価額の合計額    | 当社の総資産額      |
|-----------|-------------------------|-------------|--------------|
| (株)あかつき投資 | 東京都中央区日本橋小舟町<br>8番1号    | 6,479,339千円 | 21,700,782千円 |
| (株)マイプレイス | 神奈川県横浜市中区桜木町<br>1丁目1番8号 | 8,202,201千円 |              |

#### (4) 対処すべき課題

当社グループは証券関連事業及び不動産関連事業を主要事業としておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大は、証券関連事業の中核であるあかつき証券(株)においては証券取引市況の悪化に伴う投資マインドの低下などによる株式売買取扱高の減少、また不動産関連事業の中核である(株)マイプレイスにおいては外出自粛要請に伴う販売中物件の案内減少などによる販売戸数の減少などの影響を与えます。EWアセットマネジメント(株)の運営する高齢者住宅開発ファンドにおいては、現時点で特段の影響は認識しておりませんが、今後の不動産市況の動向によっては、売却価格に影響を与える可能性があります。このような事業環境のもと、当社グループの対処すべき課題は次のとおりであります。

あかつき証券(株)におきましては、「継続的なお客様の投資利益の追求」及び「中長期的な顧客資産の拡大」を最も重要な課題としており、投資情報部による投資情報の提供に加え、AIやフィンテックを活用した新たなサービスを推進し、付加価値の高い投資情報をタイムリーに提供する体制の充実を図ること、また、戦略的に拡大を推進している金融商品仲介業者（IFA）ビジネスについては、富裕層顧客を持つ仲介業者との契約を推進しております。これらの取り組みを実施するうえで、営業員の資質向上を目指した多岐に亘る研修等の実施を行うとともに、コンプライアンス態勢の強化及び徹底が欠かせないものであると認識しております。今後お客様本位の業務運営を推進すべく、上記施策をより一層強力に推進し、安定した収益体質を確立するとともに、お客様のパフォーマンスやニーズを常に留意した営業体制を図ってまいります。

(株)マイプレイスにおいては、主力事業である中古マンションのリノベーション事業の拡大を進めてまいります。昨今のリノベーションマンションの認知度の向上を背景に中古マンションの需要が拡大していることから、空室のみならず、退去後にリノベーション事業を行うために賃貸中物件取得を積極的に進めてまいります。当該事業の拡大に合わせて、資金調達が重要となることから、金融機関及び社債の発行等の借入を中心としながらも、自己資本による調達も勘案し財務的なバランスを図ってまいりたいと考えております。

EWアセットマネジメント(株)においては、当社が出資するファンドスキームの形態をとり、高齢者向け施設の開発を行っております。介護事業者との長期のマスターリース契約によって安定的な賃料収入によるインカムゲインを得ながら、各ヘルスケアリート等への売却によるキ

キャピタルゲインも合わせて追求しております。同社が組成した第1号ファンドに関しては物件取得のステージが完了し、物件売却の検討も進めております。また、さらなる拡大を目指し新たなファンドの組成にも着手することを検討しております。今後は従来同様、好条件の不動産の取得と開発の進捗によって資産残高を増加させていくことともに、病院・メディカルモールなど医療機関への投資機会を模索し、日本のヘルスケア市場の規模拡大にも積極的に努めてまいります。

(株)マイトランクにおいては、引き続きトランクルームの新規出店、稼働率の向上に注力し、事業拡大に努めております。今まで以上に、新規出店のスピードを上げるため、物件発掘に関する社内体制の強化及び外部業者との情報チャネルの構築を進めてまいります。

当社は、資金調達と、グループ各社に対する適切な資産配分を行いながら、グループ全体としての成長を図ってまいります。また、新規事業の企画推進や、あるいは事業からの撤退や売却等、持株会社としての経営企画機能を担ってまいります。当社においては、これらの業務に必要な高度な計数管理・企画能力を持った人材の育成と確保が、当社の今後の成長にとって必要不可欠であると考えております。

#### (5) 主要な事業内容 (2020年3月31日現在)

|         |                                                                                                                                                                                |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 証券関連事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有価証券の売買等及び売買等の委託の媒介</li> <li>・ 有価証券の引受け及び売出し</li> <li>・ 有価証券の募集及び売出しの取り扱い</li> <li>・ 証券取引を中心とした投資助言業・投資運用業</li> </ul>                 |
| 不動産関連事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中古不動産の再生、リノベーション事業</li> <li>・ 高齢者向け住宅事業に関するアセットマネジメント業</li> <li>・ 不動産取引を中心とした投資助言代理業</li> <li>・ 投資運用業</li> <li>・ トランクルーム運営</li> </ul> |

#### (6) 主要な営業所 (2020年3月31日現在)

##### ① 当社

|    |        |
|----|--------|
| 本社 | 東京都中央区 |
|----|--------|

② 主要な子会社

|         |                  |                                                                        |
|---------|------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 証券関連事業  | あかつき証券(株)        | 本店（東京都中央区）<br>大阪支店（大阪市中央区）<br>八日市場支店（千葉県匝瑳市）<br>加古川支店（兵庫県加古川市）<br>他8支店 |
| 不動産関連事業 | (株)マイプレイス        | 横浜本社（横浜市中区）<br>東京本社（東京都中央区）                                            |
|         | (株)バウテック         | 本社（横浜市中区）                                                              |
|         | E Wアセットマネジメント(株) | 本社（東京都中央区）                                                             |
|         | (株)マイトランク        | 本社（東京都渋谷区）                                                             |

(7) 使用人の状況（2020年3月31日現在）

① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分    | 使用人数 | 前連結会計年度末比増減 |
|---------|------|-------------|
| 証券関連事業  | 189名 | 18名増        |
| 不動産関連事業 | 173名 | 3名減         |
| 全社（共通）  | 6名   | －           |
| 合計      | 368名 | 15名増        |

- (注) 1. 使用人数は、就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者、常用パートを含んでおります。）であります。  
2. 使用人数には、歩合外務員（2名）は含まれておりません。

② 当社の使用人の状況

| 使用人数 | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------|-----------|-------|--------|
| 6名   | －         | 45.9歳 | 5.7年   |

- (注) 使用人数は、就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者、常用パートを含んでおります。）であります。

## (8) 主要な借入先の状況 (2020年3月31日現在)

| 借入先         | 借入額         |
|-------------|-------------|
| (株) みずほ銀行   | 3,769,120千円 |
| (株) 静岡銀行    | 3,187,446千円 |
| (株) 福岡銀行    | 2,361,453千円 |
| (株) きらぼし銀行  | 2,046,201千円 |
| (株) りそな銀行   | 2,000,965千円 |
| (株) 三菱UFJ銀行 | 1,099,359千円 |
| (株) 大光銀行    | 1,029,883千円 |

(注) 連結しているファンド(匿名組合等)が調達しているノンリコースローンは含んでおりません。

## (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

特記すべき事項はありません。

## 2. 会社の現況

## (1) 株式の状況 (2020年3月31日現在)

① 発行可能株式総数 90,000,000株

② 発行済株式の総数 34,029,544株

(注) 新株予約権の行使により、発行済株式の総数が1,755,400株増加しております。

③ 株主数 19,064名

④ 大株主（上位10位）

| 株 主 名                                                       | 持 株 数   | 持 株 比 率 |
|-------------------------------------------------------------|---------|---------|
| 資産管理サービス信託銀行(株)（信託E口）                                       | 2,608千株 | 7.7%    |
| 島 根 秀 明                                                     | 2,039   | 6.0     |
| MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON<br>COLLATERAL NON TREATY-PB | 1,507   | 4.4     |
| (株) ア エ リ ア                                                 | 1,294   | 3.8     |
| 工 藤 英 人                                                     | 1,109   | 3.3     |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL                                 | 828     | 2.4     |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG<br>( F E - A C )         | 759     | 2.2     |
| UBS AG LONDON A/C IPB<br>SEGREGATED CLIENT ACCOUNT          | 749     | 2.2     |
| トランスパシフィック・アドバイザーズ(株)                                       | 741     | 2.2     |
| 長 嶋 貴 之                                                     | 687     | 2.0     |

- (注) 1. 2013年5月14日付の取締役会において「株式給付信託（J-E SOP）」、2014年6月3日の取締役会決議に替わる書面決議により「株式給付信託（BBT）」の導入を決議し、資産管理サービス信託銀行(株)（信託E口）にて、2020年3月31日現在、2,608千株を保有しております。なお、持株比率の計算上、当該株式は自己株式数に含まれておりません。
2. 島根秀明氏（当社代表取締役）の所有株式数は、本人の資産管理会社である(株)松栄管理が所有する株式数1,665千株を含めた実質所有株式数を記載しております。
3. 工藤英人氏（当社取締役）の所有株式数は、本人の資産管理会社である(株)工藤アセットマネジメントが所有する株式855千株を含めた実質所有株式数を記載しております。
4. 2019年10月7日付で、オールド・ピーク・グループ・リミテッドより当社株式に係る大量保有報告書の変更報告書が関東財務局長に提出されております。当該変更報告書において、2019年9月30日現在で同社が3,211千株を保有している旨が記載されておりますが、当社として当事業年度末日における実質保有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。
5. 持株比率は自己株式（12千株）を控除して計算し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

⑤ その他株式に関する重要な事項

2020年3月期における自己株式の取得及び処分

・取得株式

①単元未満株式の買取請求により自己株式の取得を行っております。

普通株式 2,424株

取得価額の総額 825千円

②自己株式の取得

2020年3月17日の取締役会決議に替わる書面決議により、総額2億円の自己株式の取得枠を設定しております。なお、当事業年度中においては当該決議に基づく自己株式取得の実績はございません。

(2) 新株予約権等の状況

特記すべき事項はありません。

## (3) 会社役員の状況

## ① 取締役の状況 (2020年3月31日現在)

| 地 位                 | 氏 名                          | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                     |
|---------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 社 長       | 島 根 秀 明                      | 当社代表取締役社長執行役員CEO<br>あかつき証券(株)取締役<br>EWアセットマネジメント(株)取締役<br>(株)マイトランク取締役<br>(株)あかつき投資代表取締役<br>(株)マイプレイス代表取締役会長<br>(株)パウテック取締役<br>リードウェイ(株)代表取締役社長<br>(株)テッククリエイト 取締役<br>ジャパンウェルスアドバイザーズ(株)取締役 |
| 取 締 役 会 長           | 濱 岡 洋 一 郎                    | EWアセットマネジメント(株)代表取締役<br>(株)マイプレイス取締役<br>(株)パウテック取締役<br>日本プロロジスリート投資法人監督役員                                                                                                                   |
| 取 締 役               | 工 藤 英 人                      | 当社取締役執行役員COO<br>あかつき証券(株)代表取締役社長<br>(株)あかつき投資取締役<br>(株)マイプレイス取締役<br>(株)パウテック取締役<br>ジャパンウェルスアドバイザーズ(株)取締役                                                                                    |
| 取 締 役               | ド ミ ニ ュ ク シ ン<br>ヘ ン ダ ー ソ ン | ベンディゴパートナーズ パートナー<br>ベンディゴ(株)代表取締役<br>(株)プロスペクト常務取締役                                                                                                                                        |
| 取 締 役               | 小 林 祐 介                      | (株)アエリア代表取締役社長<br>Aeria America Inc.取締役<br>(株)ソアラボ代表取締役<br>(株)エンパシーゲームズ代表取締役<br>Twist(株)代表取締役<br>(株)Impression取締役<br>(株)アエリア投資式号代表取締役<br>(株)トータルマネージメント取締役<br>(株)アリスマティック取締役                |
| 取 締 役 ( 監 査 等 委 員 ) | 安 東 恭 一                      | 弁護士<br>新霞が関総合法律事務所パートナー                                                                                                                                                                     |
| 取 締 役 ( 監 査 等 委 員 ) | 小 西 克 憲                      | あかつき証券(株)監査役                                                                                                                                                                                |
| 取 締 役 ( 監 査 等 委 員 ) | 田 名 網 一 嘉                    | (株)アエリア社外監査役<br>(株)エアネット監査役<br>(株)エイジ監査役<br>(株)ファーストペンギン監査役<br>(株)リベル・エンタテインメント監査役<br>(株)アスガルド監査役<br>(株)アリスマティック監査役<br>(株)Impression監査役<br>(株)アエリア投資式号監査役                                   |

- (注) 1. 取締役小林祐介氏並びに取締役（監査等委員）安東恭一氏、小西克憲氏及び田名網一嘉氏は、社外取締役であります。
2. 取締役（監査等委員）安東恭一氏は、弁護士の資格を有しており、企業法務に関する相当程度の知見を有するものであります。
3. 取締役（監査等委員）田名網一嘉氏は、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 当社は、取締役（監査等委員）安東恭一氏及び田名網一嘉氏を㈱東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
5. 当社は、監査等委員会が主体となり内部統制システムを通じた組織的な監査を実施しているため、必ずしも常勤者の選定を必要としないことから、常勤の監査等委員を選定しておりません。

## ② 責任限定契約の内容の概要

当社と各非業務執行取締役及び各監査等委員である取締役との間では、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が定める最低責任限度額としております。

## ③ 取締役及び監査役の報酬等

### イ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分                        | 員 数       | 報酬等の総額               |
|----------------------------|-----------|----------------------|
| 取締役（監査等委員を除く）<br>（うち社外取締役） | 6名<br>(1) | 236,504千円<br>(2,795) |
| 取締役（監査等委員）<br>（うち社外取締役）    | 3<br>(3)  | 11,400<br>(11,400)   |
| 合 計<br>（うち社外役員）            | 9<br>(4)  | 247,904<br>(14,195)  |

- (注) 1. 取締役（監査等委員を除く。）の報酬等の額には、2019年6月27日開催の第69回定時株主総会の終結の時をもって退任した取締役1名の在任中の総額等の額が含まれております。
2. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
3. 取締役（監査等委員を除く）の報酬限度額は、2018年6月28日開催の第68回定時株主総会において、年額350百万円以内（ただし使用人分給与を含まない。）と決議いただいております。
4. 取締役（監査等委員）の報酬限度額は、2018年6月28日開催の第68回定時株主総会において、年額20百万円以内と決議いただいております。
5. 上記報酬等の総額は、取締役（監査等委員を除く）に対する業績連動型の株式報酬制度に基づき計上した役員株式給付引当金111,750千円を含んでおります。本制度に係る取締役（監査等委員を除く）の報酬等の総額は、2018年6月28日開催の第68回定時株主総会で、上記3に記載の報酬限度額とは別枠で決議いただいております。

- . 社外役員が親会社及び子会社等から受けた役員報酬等の総額  
当事業年度において、社外取締役が役員を兼任する親会社又は子会社等から役員として受けた報酬等の総額は3,600千円であります。

④ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の業務執行者との重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役小林祐介氏は、(株)アエリア、(株)ソアラボ、(株)エンパシーゲームズ、Twist(株)、(株)アエリア投資式号の代表取締役及びAeria America Inc.、(株)Impression、(株)トータルマネージメント、(株)アリスマティックの取締役を兼務しております。(株)アエリアは当社の株式1,294千株を保有しております。また、当社とその他の兼務先との間には特別の関係はありません。
- ・取締役（監査等委員）安東恭一氏は、新霞が関総合法律事務所のパートナーを兼務しております。当社と兼務先との間には特別の関係はありません。

□. 他の法人等の社外役員等との重要な兼任の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役（監査等委員）小西克憲氏は、あかつき証券(株)の監査役を兼務しております。同社は当社の子会社であります。
- ・取締役（監査等委員）田名網一嘉氏は、(株)アエリアの社外監査役、(株)エアネット、(株)エイジ、(株)ファーストペンギン、(株)リベル・エンタテインメント、(株)アスガルド、(株)アリスマティック、(株)Impression、(株)アエリア投資式号の監査役を兼務しております。(株)アエリアは当社の株式1,294千株を保有しております。また、当社とその他の兼務先との間には特別の関係はありません。

ハ. 当事業年度における主な活動状況

- ・取締役会及び監査等委員会への出席状況

|                |       | 取締役会(10回開催) |       | 監査等委員会(13回開催) |        |
|----------------|-------|-------------|-------|---------------|--------|
|                |       | 出席回数        | 出席率   | 出席回数          | 出席率    |
| 取締役            | 小林祐介  | 9回          | 90.0% | —             | —      |
| 取締役<br>(監査等委員) | 安東恭一  | 10          | 100.0 | 13回           | 100.0% |
| 取締役<br>(監査等委員) | 小西克憲  | 10          | 100.0 | 12            | 92.3   |
| 取締役<br>(監査等委員) | 田名網一嘉 | 9           | 90.0  | 12            | 92.3   |

(注) 上記の取締役会の開催回数のほか、会社法第370条及び定款第25条第2項の規定に基づき、取締役会決議があったものとみなす書面決議が15回ありました。

・取締役会における発言状況

取締役小林祐介氏は、社外取締役として経営管理の観点から意見・アドバイスを行っております。

取締役（監査等委員）安東恭一氏、小西克憲氏及び田名網一嘉氏は、監査等委員として取締役の職務執行をモニタリングし、妥当性・適正性を確保するため適宜意見・アドバイスを行っております。

・監査等委員会における活動状況

取締役（監査等委員）安東恭一氏、小西克憲氏及び田名網一嘉氏は、監査等委員会において、内部監査部門からの内部監査の状況報告を受け、内部統制システムの整備及び運用状況について適宜発言をいたしました。また、監査の充実を図るため、代表取締役及び子会社役員との面談、会計監査人との意見交換などを行いました。

(4) 会計監査人の状況

- ① 名称 海南監査法人
- ② 報酬等の額

|                                     | 支 払 額    |
|-------------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 26,600千円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 46,000千円 |

(注) 1. 当社、当社の子会社であるあかつき証券㈱、㈱あかつき投資及び㈱マイプレイスにつきましては、海南監査法人が会計監査人となっております。

2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

3. 監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算定根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断を行っております。

③ 非監査業務の内容

当社の子会社であるあかつき証券㈱は、会計監査人に対して公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務である分別保管の法令遵守の検査業務を委託し、対価を支払っております。

④ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査等委員会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査等委員全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨及び解任の理由を報告いたします。

⑤ 責任限定契約の内容の概要

当社は会計監査人との間に責任限定契約は現在締結しておりません。

(5) 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

・業務の適正を確保するための体制

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は以下のとおりであります。

① 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制につきましては、グループ各社の取締役及び使用人が法令・各社定款及び社内諸規則を遵守した行動をとるためのコンプライアンス・マニュアルを定めております。また、グループ各社で問題が発生した場合は、各社のコンプライアンス部門が連携し、当社取締役会に報告することとしております。また、リスク管理委員会を設置し、法令上疑義のある行為等についてグループ各社の使用人が直接情報提供を行える内部通報窓口を開設するとともに、グループ取締役との関連性の高い問題については、監査等委員会において審議し、その結果を取締役会に報告する体制を整備しております。

② 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理については、文書管理規程に従い、取締役の職務の執行に係る情報を文書又は電磁的媒体（以下、文書等という。）に記録し、保存しております。取締役は、文書管理規程により、常時、これらの文書等を閲覧できるものとしております。

③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社はリスク管理基本規程を制定し、リスクの発生の確率を減らし、そのマイナスの影響を抑えるための組織的な管理に関する基本的事項を定めております。

コンプライアンス、災害、情報セキュリティ、自己ディーリング及び保有不動産等に係る個別のリスク管理については、グループ各社ごとに専門性を要することから、グループ各社及び各部署において規則・ガイドラインの策定、研修の実施、マニュアルの作成・配布等を行い、リスク管理の充実を図っております。なお、各社ごとのリスク管理状況については内部監査部門により監査を実施し、全社的なリスク管理の進捗状況を取締役会及び監査等委員会に報告し、必要に応じて指導・助言を行うものとしております。

④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するため、職務分掌規程及び職務権限規程を定め、適切かつ効率的に取締役が職務の執行を行えるようにしております。また、グループ各社において、関係会社管理規程により、各社間と協議すべき事項、報告すべき事項等を定め、各社の業務の効率化を図っております。

⑤ 会社ならびに親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制

1. 子会社の取締役等の職務の執行に係る事項の当該株式会社への報告に関する体制

当社グループにおける関係会社管理規程において、報告すべき事項を定め、子会社の営業成績、財務状況その他重要な情報等について、当社への定期的な報告を行うものとしております。

2. 子会社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制  
子会社の損失の危険の管理については、グループ各社ごとに業務の専門性を有することから、当社と連携の上、各社において規則・ガイドラインの策定、マニュアルの作成・配布、教育の実施などを行い、リスク管理の充実を図っております。また、グループ各社で危険の発生を把握した場合、当社の子会社管理部門を通じて、当社取締役会に報告されることとなっております。
  3. 子会社の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制  
子会社の取締役等の職務の執行が効率的に行われるため、当社グループにおける関係会社管理規程を定め、協議すべき事項及び報告すべき事項を明確化し、具体的な業務執行については子会社の自主性を尊重しております。また、グループに共通する間接部門の業務については共有化を図り、グループ全体で効率的な経営に努めております。
  4. 子会社の取締役等及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制  
当社はコンプライアンス・マニュアルを作成し、当社のコンプライアンス部門を中心にグループ各社のコンプライアンス部門と報告・連携等を行い、グループ各社固有のコンプライアンスリスクを分析し対応に努めております。また、各社で問題が発生した場合は当社コンプライアンス部門を通じて取締役会及び監査等委員会に報告することとしております。
- ⑥ 監査等委員がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項  
監査等委員会は、当社グループの使用人に監査業務に必要な事項を命令することができることとしております。
  - ⑦ 前号の使用人の監査等委員でない取締役からの独立性に関する事項  
監査等委員会より監査業務に必要な命令を受けた使用人は、その命令に関しては、監査等委員でない取締役、部門責任者等の指揮命令を受けないこととし、監査等委員の指揮命令に従い補助業務が遂行できるような独立性を確保しております。
  - ⑧ 監査等委員の職務を補助すべき使用人に対する指示の実効性の確保に関する体制  
当社は、監査等委員の職務を補助すべき使用人に関し、監査等委員の指揮命令に従うこと、当該指揮命令に従わなかった場合は社内処分の対象となることとしております。
  - ⑨ 監査等委員に報告するための体制
    1. 監査等委員でない取締役及び使用人が監査等委員会に報告するための体制、その他の監査等委員への報告に関する体制  
監査等委員でない取締役及び使用人は、監査等委員会に対して、法定の事項に加え、当社グループに重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況、内部通報窓口に対する通報状況及びその内容を速やかに報告することとしております。
    2. 子会社の取締役・監査役等及び使用人又はこれらの者から報告を受けた者が監査等委員会に報告するための体制  
子会社の取締役・監査役等及び使用人又はこれらの者から報告を受けた者は、コンプライア

ンス・マニュアルにおいて、各社のコンプライアンス部門を通じてリスク管理委員会に報告するものとし、重要なものについては監査等委員会にて審議され、同委員会より当社取締役会に報告されることとなっております。

- ⑩ 監査等委員へ報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制  
 当社は、コンプライアンス・マニュアルにおいて、当社グループの監査等委員又は監査役への報告を行った者が、当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを保障する旨を規定しております。
- ⑪ 監査等委員の職務の執行について生ずる費用の前払い又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項  
 当社は、監査等委員がその職務の執行について、費用又は債務を請求した場合は、当該請求に係る費用又は債務が当該監査等委員の職務の執行に必要なでないと認められる場合を除き、速やかに当該費用又は債務を処理することとしております。
- ⑫ その他監査等委員の監査が実効的に行われることを確保するための体制  
 監査等委員は、監査等委員会規程において、代表取締役、会計監査人とそれぞれ定期的に意見交換を行うこととしております。また、監査等委員会が必要と判断した場合は、各監査等委員でない取締役、グループ各社社長、重要な使用人から個別ヒヤリングを行う機会を設けることとしております。

#### ・業務の適正を確保するための体制の運用状況

当社では、上記の業務の適正を確保するための体制について、その整備と適切な運用に努めております。当事業年度における当該体制の運用状況は、以下のとおりであります。

- ① コンプライアンスに対する取組み  
 当社グループでは、グループ各社の役社員に向けて、当社が定めるコンプライアンス・マニュアルの継続的な周知に努めるとともに、グループ各社においても研修等の社内教育を実施することにより、コンプライアンスに対する意識向上に努めております。  
 また、法令上疑義のある行為等についてグループ各社の使用人が直接情報提供を行える内部通報窓口を開設し、リスク管理委員会を通じて取締役会及び監査等委員会に報告する体制を構築しております。また、グループ取締役との関連性の高い問題については、別途、監査等委員会で審議し、その結果を取締役に報告することとしております。なお、当事業年度において発生した内部通報案件はありません。
- ② 職務執行の適正及び効率性の確保に対する取組み  
 当社では、社外取締役1名を含む監査等委員でない取締役5名及び全て社外取締役である監査等委員である取締役3名により、取締役会規程ならびに取締役会付議基準の定めに従い、原則として毎月1回の定時取締役会を開催しているほか、必要に応じた臨時開催・書面による決議等を行っております。当事業年度におきましては、10回の取締役会の開催と15回の書面決議を行いました。

また、取締役会の決定に基づく職務の執行が効率的に行われることを確保するため、職務分掌規程及び職務権限規程を定め、効率的に業務が執行を行えるようにしております。

③ リスク管理に対する取組み

当社グループでは、グループ各社におけるリスク管理に係る規則・ガイドラインに基づき、リスク管理状況について内部監査部門により監査を実施し、リスク管理の進捗状況を取締役会及び監査等委員会に報告、必要に応じた指導・助言を行っているほか、リスク管理に係る研修の実施、マニュアルの作成・周知等を行っております。

④ 当社グループにおける業務の適正の確保に対する取組み

当社子会社の経営管理につきましては、関係会社管理規程において、報告すべき事項を定め、子会社の営業成績、財務状況その他重要な情報等について、取締役会において定期的に報告を行っております。

また、グループ各社において、関係会社管理規程により、各社間と協議すべき事項、報告すべき事項等を定め、各社の業務の効率化を図っております。

⑤ 監査等委員会の監査の実効性の確保に対する取組み

当社の監査等委員会は監査等委員である取締役3名により構成されており、監査等委員である取締役の全てが社外取締役であります。当事業年度におきましては、13回の監査等委員会が開催され、内部監査部門の責任者よりグループ各社の内部監査に関する報告を受け、内部統制の状況を確認しております。また、原則として毎月1回開催される取締役会に出席し経営の監視を行っております。さらに代表取締役やグループ各社の役員と面談を行い、グループ全体の経営執行に対する監督強化に努めております。

(6) 会社の支配に関する基本方針

該当事項はありません。

(7) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、以下の基本方針のもと、配当支払いと自己株式取得により株主還元を行うものとしております。配当支払いについて、財務の安定と事業資金の確保に支障をきたさない限りにおいて、連結純資産配当率（DOE）\*で年間4%の水準を維持することに努めます。また、自己資本利益率（ROE）が4%を上回る場合に、その部分の利益についても株主還元の原資とし、その一部を追加の配当支払いや自己株式の取得に充当します。

このような方針のもと、当事業年度の期末配当につきましては、1株につき11円とさせていただき、すでに実施済みの中間配当金1株当たり9円とあわせまして、年間配当金は1株当たり20円となります。

さらに、2020年3月17日の取締役会決議に替わる書面決議により、総額2億円の自己株式の取得枠を設定しております。なお、当事業年度中においては当該決議に基づく自己株式取得の実績はございません。

\* 連結純資産配当率（DOE）：

1株当たり年間配当金 ÷ 1株当たり連結純資産の期首・期末平均

## 連結貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部         |                   | 負 債 の 部                |                   |
|-----------------|-------------------|------------------------|-------------------|
| 科 目             | 金 額               | 科 目                    | 金 額               |
| <b>流 動 資 産</b>  | <b>53,971,074</b> | <b>流 動 負 債</b>         | <b>29,782,942</b> |
| 現金及び預金          | 16,462,736        | 約定見返勘定                 | 59,199            |
| 預託金             | 8,000,000         | 信用取引負債                 | 1,165,750         |
| トレーディング商品       | 306,092           | 信用取引借入金                | 729,226           |
| 信用取引資産          | 2,728,445         | 信用取引貸証券受入金             | 436,523           |
| 信用取引貸付金         | 2,392,284         | 預り金                    | 8,181,015         |
| 信用取引借証券担保金      | 336,161           | 受入保証金                  | 537,074           |
| 差入保証金           | 350,059           | 短期社債                   | 3,000,000         |
| 販売用不動産          | 24,695,507        | 1年以内償還予定の社債            | 1,000,000         |
| その他             | 1,428,234         | 短期借入金                  | 11,668,528        |
| <b>固 定 資 産</b>  | <b>4,823,674</b>  | 1年内返済予定長期借入金           | 1,994,507         |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>1,522,809</b>  | ノンリコース1年内返済            | 337,940           |
| 建物及び構築物         | 674,806           | 予定長期借入金                | 175,377           |
| 土地              | 680,255           | 未払法人税等                 | 1,663,549         |
| その他             | 167,747           | <b>固 定 負 債</b>         | <b>15,515,343</b> |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>2,001,629</b>  | 社債                     | 3,000,000         |
| のれん             | 1,780,546         | 長期借入金                  | 10,108,335        |
| その他             | 221,082           | ノンリコース長期借入金            | 768,300           |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>1,299,236</b>  | 退職給付に係る負債              | 241,542           |
| 投資有価証券          | 764,081           | 役員株式給付引当金              | 768,195           |
| その他             | 729,669           | その他                    | 628,970           |
| 貸倒引当金           | △194,515          | <b>特別法上の準備金</b>        | <b>23,066</b>     |
| <b>資 産 合 計</b>  | <b>58,794,749</b> | 金融商品取引責任準備金            | 23,066            |
|                 |                   | <b>負 債 合 計</b>         | <b>45,321,352</b> |
|                 |                   | <b>純 資 産 の 部</b>       |                   |
|                 |                   | <b>株 主 資 本</b>         | <b>13,390,572</b> |
|                 |                   | 資本金                    | 5,665,452         |
|                 |                   | 資本剰余金                  | 3,307,138         |
|                 |                   | 利益剰余金                  | 5,419,019         |
|                 |                   | 自己株式                   | △1,001,037        |
|                 |                   | <b>その他の包括利益累計額</b>     | <b>△2,310</b>     |
|                 |                   | その他有価証券評価差額金           | △7,924            |
|                 |                   | 為替換算調整勘定               | 5,613             |
|                 |                   | <b>新株予約権</b>           | <b>9,751</b>      |
|                 |                   | <b>非支配株主持分</b>         | <b>75,383</b>     |
|                 |                   | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>13,473,396</b> |
|                 |                   | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>58,794,749</b> |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

( 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで )

(単位：千円)

| 科 目              | 金 額        |                   |
|------------------|------------|-------------------|
| <b>営業収益</b>      |            | <b>34,423,480</b> |
| 受入手数料            | 1,488,812  |                   |
| トレーディング損益        | 3,321,591  |                   |
| 金融収益             | 70,004     |                   |
| 不動産事業売上高         | 29,515,872 |                   |
| その他              | 27,199     |                   |
| <b>営業費用</b>      |            | <b>20,300</b>     |
| <b>売上原価</b>      |            | <b>23,970,427</b> |
| 不動産事業売上原価        | 23,970,427 |                   |
| <b>純営業収益</b>     |            | <b>10,432,752</b> |
| <b>販売費・一般管理費</b> |            | <b>8,838,564</b>  |
| 取引関係費            | 1,659,164  |                   |
| 人件費              | 3,491,575  |                   |
| 不動産関係費           | 372,297    |                   |
| 事務費              | 513,665    |                   |
| 減価償却費            | 178,853    |                   |
| 租税公課             | 469,849    |                   |
| 販売手数料            | 645,083    |                   |
| のれん償却額           | 257,165    |                   |
| その他              | 1,250,910  |                   |
| <b>営業利益</b>      |            | <b>1,594,188</b>  |
| <b>営業外収益</b>     |            | <b>131,703</b>    |
| 受取利息             | 17,296     |                   |
| 投資有価証券売却益        | 6,552      |                   |
| 不動産取得税還付金        | 50,483     |                   |
| その他              | 57,371     |                   |
| <b>営業外費用</b>     |            | <b>631,197</b>    |
| 支払払利息            | 474,900    |                   |
| 支払手数料            | 98,424     |                   |
| その他              | 57,872     |                   |
| <b>経常利益</b>      |            | <b>1,094,694</b>  |

(単位：千円)

| 科 目                    | 金       | 額                |
|------------------------|---------|------------------|
| <b>特 別 利 益</b>         |         | <b>941,979</b>   |
| 固定資産売却益                | 941,979 |                  |
| <b>特 別 損 失</b>         |         | <b>74,645</b>    |
| 固定資産除却損                | 18,868  |                  |
| 金融商品取引責任準備金繰入          | 1,631   |                  |
| 投資有価証券評価損              | 52,819  |                  |
| その他                    | 1,326   |                  |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>     |         | <b>1,962,028</b> |
| 法人税、住民税及び事業税           | 453,938 |                  |
| 法人税等調整額                | 84,588  | 538,526          |
| <b>当 期 純 利 益</b>       |         | <b>1,423,502</b> |
| 非支配株主に帰属する当期純利益        |         | 5,736            |
| <b>親会社株主に帰属する当期純利益</b> |         | <b>1,417,765</b> |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から  
2020年3月31日まで)

(単位：千円)

|                              | 株 主 資 本   |           |           |            |             |
|------------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------|
|                              | 資 本 金     | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自 己 株 式    | 株 主 資 本 合 計 |
| 当連結会計年度期首残高                  | 5,492,516 | 3,141,209 | 4,553,464 | △835,092   | 12,352,098  |
| 当連結会計年度変動額                   |           |           |           |            |             |
| 新株の発行                        | 172,935   | 172,935   |           |            | 345,871     |
| 剰余金の配当                       |           |           | △552,211  |            | △552,211    |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |           |           | 1,417,765 |            | 1,417,765   |
| 自己株式の取得                      |           |           |           | △210,542   | △210,542    |
| 自己株式の処分                      |           | △7,006    |           | 44,597     | 37,590      |
| 株主資本以外の項目の<br>当連結会計年度変動額(純額) |           |           |           |            |             |
| 当連結会計年度変動額合計                 | 172,935   | 165,928   | 865,554   | △165,945   | 1,038,473   |
| 当連結会計年度末残高                   | 5,665,452 | 3,307,138 | 5,419,019 | △1,001,037 | 13,390,572  |

|                              | その他の包括利益累計額      |              |                                 | 新株予約権   | 非支配株主持分 | 純資産合計      |
|------------------------------|------------------|--------------|---------------------------------|---------|---------|------------|
|                              | その他有価証<br>券評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | そ の 他 の<br>包 括 利 益<br>累 計 額 合 計 |         |         |            |
| 当連結会計年度期首残高                  | △37,275          | 5,698        | △31,577                         | 21,034  | 58,529  | 12,400,085 |
| 当連結会計年度変動額                   |                  |              |                                 |         |         |            |
| 新株の発行                        |                  |              |                                 |         |         | 345,871    |
| 剰余金の配当                       |                  |              |                                 |         |         | △552,211   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |                  |              |                                 |         |         | 1,417,765  |
| 自己株式の取得                      |                  |              |                                 |         |         | △210,542   |
| 自己株式の処分                      |                  |              |                                 |         |         | 37,590     |
| 株主資本以外の項目の<br>当連結会計年度変動額(純額) | 29,351           | △84          | 29,266                          | △11,282 | 16,853  | 34,837     |
| 当連結会計年度変動額合計                 | 29,351           | △84          | 29,266                          | △11,282 | 16,853  | 1,073,311  |
| 当連結会計年度末残高                   | △7,924           | 5,613        | △2,310                          | 9,751   | 75,383  | 13,473,396 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結注記表

(連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記)

### 1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の状況

- (1) 連結子会社の数 21社  
 (2) 主要な連結子会社の名称

主要な連結子会社名は、事業報告の「1. 企業集団の現況 (3)重要な親会社及び子会社の状況 ②重要な子会社の状況」に記載しているため、省略しております。

### (3) 新たに連結の範囲に含めた会社の名称及び変更の理由

| 会社の名称              | 変更の理由  |
|--------------------|--------|
| 合同会社こうとう           | 匿名組合出資 |
| ジャパンウェルスアドバイザーズ(株) | 新規設立   |
| 株式会社テッククリエイト       | 株式取得   |

### (4) 連結の範囲から除いた会社の名称及び変更の理由

| 会社の名称   | 変更の理由 |
|---------|-------|
| 合同会社かさい | 清算    |

### 2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社の状況

- 持分法を適用した関連会社数 1社  
 主要な会社等の名称 兆富財富管理顧問股份有限公司

### 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、合同会社さつき、及び特定目的会社なぎさの決算日は10月31日であり、また、合同会社よすみ、合同会社みよし、合同会社はまの、合同会社ふたば、及び合同会社こうとうの決算日は8月31日であるため、当社の連結決算日と異なります。

当連結会計年度においては、合同会社さつき、及び特定目的会社なぎさについて2020年1月31日を決算日とみなした仮決算に基づく決算数値を使用しており、合同会社よすみ、合同会社みよし、合同会社はまの、合同会社ふたば、及び合同会社こうとうについて2020年2月29日を決算日とみなした仮決算に基づく決算数値を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

#### 4. 会計方針に関する事項

##### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

- ① トレーディング商品……………トレーディング商品に属する有価証券については、時価法を採用し、売却原価は移動平均法により算定しております。
- ② 有価証券  
    その他有価証券  
        時価のあるもの……………連結会計年度の末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）  
        時価のないもの……………移動平均法による原価法を採用しております。  
            なお、投資事業有限責任組合等への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とした持分相当額を純額で取込む方法によっております。
- ③ デリバティブ取引……………時価法を採用しております。
- ④ たな卸資産  
    通常の販売目的で保有するたな卸資産  
        販売用不動産……………個別法による原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）によっております。

##### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）  
    定率法によっております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。
- ② 無形固定資産（リース資産を除く）  
    定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
- ③ リース資産  
    所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
    リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

##### (3) 重要な引当金及び特別法上の準備金の計上基準

- ① 貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に基づき計上し、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 役員株式給付引当金……………役員報酬の支給に備えるため、将来の株式給付見込額のうち当連結会計年度において負担すべき額を計上しております。
- ③ 金融商品取引責任準備金……………金融商品事故による損失に備えるため、金融商品取引法第46条の5及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」第175条に定めるところにより算出した額を計上しております。

## (4) 退職給付に係る会計処理の方法

主に退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

## (5) 重要な外貨建ての資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## (6) のれんの償却方法及び償却期間

無形固定資産に計上したのれんについては、20年以内の合理的な償却期間を設定し、定額法により償却を行っております。

## (7) 重要な繰延資産の処理方法

社債発行費については、支出時に全額費用として処理しております。

## (8) その他連結計算書類の作成のための重要な事項

## ① 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

## ② 連結納税制度の採用

当社及び一部の連結子会社は、連結納税制度を適用しております。

## (追加情報)

## (株式給付信託制度 (J-E S O P))

当社は、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、業績向上への意欲を高めるために、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託 (J-E S O P)」(以下、「本制度」という。)を導入しております。

## (1) 取引の概要

本制度は、あらかじめ当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした従業員に対し、当社株式を給付する仕組みです。

当社は、従業員に個人の貢献度及び給付時の株価等に応じて当社株式を給付いたします。従業員に対し給付する株式については、あらかじめ信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

なお、本制度は「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)第3項、第4項の取引には該当しないと判断しております。

## (2) 信託が保有する自社の株式に関する事項

当該信託が保有する株式は、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除きます。)により連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しております。なお、信託が保有する当社株式の帳簿価額は、前連結会計年度末24,795千円、当連結会計年度末64,843千円であります。

また、期末株式数は、前連結会計年度末68千株、当連結会計年度末185千株であり、期中平均株式数は、前連結会計年度64千株、当連結会計年度93千株であります。

上記の期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(株式給付信託制度 (BBT))

当社は、当社及び一部の連結子会社の取締役に対する株式報酬制度「株式給付信託制度 (BBT)」(以下、「本制度」という。)を導入しております。

本制度は、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意識を高めることを目的として導入したものであります。

(1) 取引の概要

本制度は、あらかじめ当社が定めた役員株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした取締役に対し、当社株式を取締役の退任に際し、給付する仕組みです。

取締役に対し給付する株式については、あらかじめ信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

(2) 信託が保有する自社の株式に関する事項

当該信託が保有する株式は、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除きます。)により連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しております。なお、信託が保有する当社株式の帳簿価額は、前連結会計年度末805,326千円、当連結会計年度末930,397千円であります。

また、期末株式数は、前連結会計年度末2,095千株、当連結会計年度末2,423千株であり、期中平均株式数は、前連結会計年度1,756千株、当連結会計年度2,152千株であります。

上記の期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(連結貸借対照表に関する注記)

1. 担保提供資産及び対応債務

(1) 担保提供資産

|              |              |
|--------------|--------------|
| 現金及び預金(定期預金) | 31,509千円     |
| 販売用不動産       | 21,895,957千円 |
| 建物及び構築物      | 319,952千円    |
| 土地           | 518,591千円    |
| 計            | 22,766,011千円 |

(2) 担保債務

|              |              |
|--------------|--------------|
| 短期借入金        | 9,568,528千円  |
| 1年内返済予定長期借入金 | 1,897,667千円  |
| 長期借入金        | 8,577,855千円  |
| 計            | 20,044,050千円 |

2. 責任財産限定型債務（ノンリコースローン）に係る担保提供資産及び対応債務

(1)担保提供資産

|        |             |
|--------|-------------|
| 販売用不動産 | 1,589,928千円 |
| 計      | 1,589,928千円 |

(2)担保債務

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| ノンリコース1年内返済予定長期借入金 | 337,940千円   |
| ノンリコース長期借入金        | 768,300千円   |
| 計                  | 1,106,240千円 |

3. 担保等として差入をした有価証券の時価額

|               |           |
|---------------|-----------|
| 信用取引貸証券       | 474,428千円 |
| 信用取引借入金の本担保証券 | 833,155千円 |
| 差入保証金代用有価証券   | 679,110千円 |

4. 担保等として差入を受けた有価証券の時価額

|               |             |
|---------------|-------------|
| 信用取引貸付金の本担保証券 | 1,862,445千円 |
| 信用取引借証券       | 474,428千円   |
| 受入証拠金代用有価証券   | 37,592千円    |
| 受入保証金代用有価証券   | 3,698,696千円 |

5. 有形固定資産の減価償却累計額

1,019,681千円

6. 有形固定資産の減損損失累計額

減価償却累計額に含めております。

7. 金融商品取引法第43条の2の規定に基づいて分別保管されている資産

|              |             |
|--------------|-------------|
| 預託金（顧客分別金信託） | 8,000,000千円 |
|--------------|-------------|

8. 特別法上の準備金

特別法上の準備金の計上を規定した法令の条項は、次のとおりであります。

金融商品取引責任準備金

金融商品取引法第46条の5

金融商品取引業等に関する内閣府令第175条

9. 有形固定資産から販売用不動産への振替

所有目的の変更により、有形固定資産の一部を販売用不動産に振替えております。その内容は以下のとおりであります。

|         |           |
|---------|-----------|
| 建物及び構築物 | 315,368千円 |
| 土地      | 313,982千円 |
| 計       | 629,351千円 |

(連結株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の総数に関する事項

| 株式の種類                   | 当連結会計年度<br>期首の株式数 | 当連結会計年度<br>増加株式数 | 当連結会計年度<br>減少株式数 | 当連結会計年度末<br>の株式数 |
|-------------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 発行済株式<br>普通株式<br>(注) 1. | 32,274,144株       | 1,755,400株       | —                | 34,029,544株      |
| 自己株式<br>普通株式<br>(注) 2.  | 2,174,141株        | 566,724株         | 119,809株         | 2,621,056株       |

(注) 1. 普通株式の発行済株式数の増加は、当社第2回新株予約権、第7回新株予約権の行使によるものであります。

2. 普通株式の自己株式の株式数の増加は、E S O P信託口及びB B T信託口による取得であります。普通株式の自己株式の株式数の減少は、E S O P信託口及びB B T信託口から役員への株式給付によるものであります。

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

| 決議                       | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日            | 効力発生日          | 配当の原資 |
|--------------------------|-------|----------------|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 2019年<br>6月27日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 258,110        | 8.0             | 2019年<br>3月31日 | 2019年<br>6月28日 | 利益剰余金 |
| 2019年<br>11月14日<br>取締役会  | 普通株式  | 294,100        | 9.0             | 2019年<br>9月30日 | 2019年<br>12月9日 | 利益剰余金 |

(注) 1. 2019年6月27日定時株主総会決議の配当金の総額には、E S O P信託口及びB B T信託口が保有する当社株式に対する配当金17,310千円が含まれております。

2. 2019年11月14日取締役会決議の配当金の総額には、E S O P信託口及びB B T信託口が保有する当社株式に対する配当金18,652千円が含まれております。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度になるもの

2020年6月26日開催の第70回定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

| 決議予定                     | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日            | 効力発生日          | 配当の原資 |
|--------------------------|-------|----------------|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 2020年<br>6月26日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 374,184        | 11.0            | 2020年<br>3月31日 | 2020年<br>6月29日 | 利益剰余金 |

(注) 2020年6月26日定時株主総会の決議による配当金の総額には、E S O P信託口及びB B T信託口が保有する当社株式に対する配当金28,691千円が含まれております。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、主に証券関連事業及び不動産関連事業により構成されております。

証券関連事業においては、株式市場の状況のバランスを調整して、主に金融機関借入による間接金融によって資金調達を行っています。主として株式市場の変動を伴う信用取引資産及び信用取引負債を有しているため、株式市場の変動による不利な影響が生じないように、顧客から受け入れている担保の余力管理を日々行っています。先物為替取引については、顧客の外貨建有価証券取引に付随したものであり、投機的な取引は行わない方針であります。

また、不動産関連事業においては、新規投資及び投資回収の計画等に照らし、必要な資金を調達しております。一時的な余資は、主に銀行預金など流動性の高い金融資産で運用し、また、資金調達については銀行等からの借入により調達しております。デリバティブは、借入金の金利変動リスクを回避するために利用し、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預託金は、主に顧客分別預託金であります。顧客分別金信託は、金融商品取引法第43条の2第2項に基づき顧客から預託を受けた金銭を信託会社等に信託しているものであり、信託法により信託財産の独立性が確保されております。

トレーディング商品は株式及び公社債であります。投資有価証券には株式及び公社債、匿名組合・投資事業有限責任組合への出資金等が含まれております。これらは、市場価格の変動リスク・発行体の信用リスクに晒されています。

信用取引貸付金は、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されています。

信用取引借入金は、主に顧客に対する信用取引貸付金に係る資金調達であり、株式市場の変動リスクに晒されています。

預り金は、主に顧客からの預り金であり、有価証券の売買等に伴う顧客からの一時的な預り金であります。顧客からの預り金は、金融商品取引法に基づき信託会社等に信託しており、信託法により信託財産の独立性が確保されております。

受入保証金は、顧客から受け入れた信用取引の委託保証金であります。委託保証金は、金融商品取引法に基づき顧客分別金信託として信託会社等に信託しており、信託法により信託財産の独立性が確保されております。

借入金は、主に営業取引に係る資金調達であります。借入金のうち変動金利の借入金は、金利変動リスクに晒されています。

社債及びノンリコース借入金は、主に特定のプロジェクトや事業を推進する上で必要な資金調達を目的としたものであります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

i 信用リスク及び市場リスク

預託金である顧客分別金信託は、担当部署が規程に従い、残高管理を行っております。

トレーディング商品は、あらかじめ定めた限度額の範囲内（市場リスク枠）に収めることで管理を行っております。市場リスク枠は、取締役会において決定し、市場の変動や財務状況等を把握し、取締役会へ報告しております。

投資有価証券は、発行体の財務状況等を継続的に把握することに努めており、状況に応じて随時保有方針の見直し等を行っております。

信用取引貸付金は、子会社において経常的に発生しており、担当部署が規程に従い、最長6ヶ月以内での返済期日管理及び受入保証金の預託状況管理を毎日売買審査部で把握する体制としています。

信用取引借入金は、担当部署が規程に従い、残高及び差入担保状況管理を行う体制としています。

ii 資金調達に係る流動性リスク

当社グループは、担当部署が企画・立案する新規投資又は投資回収の計画に基づき、適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持等により流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれています。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません。(注2) 参照)

|                                  | 連結貸借対照表<br>計上額<br>(千円) | 時価<br>(千円) | 差額<br>(千円) |
|----------------------------------|------------------------|------------|------------|
| (1) 現金及び預金                       | 16,462,736             | 16,462,736 | —          |
| (2) 預託金                          | 8,000,000              | 8,000,000  | —          |
| (3) トレーディング商品 (資産)               | 306,092                | 306,092    | —          |
| (4) 信用取引貸付金                      | 2,392,284              | 2,392,284  | —          |
| (5) 信用取引借証券担保金                   | 336,161                | 336,161    | —          |
| (6) 差入保証金                        | 350,059                | 350,059    | —          |
| (7) 投資有価証券                       | 44,063                 | 44,063     | —          |
| 資産計                              | 27,891,396             | 27,891,396 | —          |
| (1) トレーディング商品 (負債)               | —                      | —          | —          |
| (2) 信用取引借入金                      | 729,226                | 729,226    | —          |
| (3) 信用取引貸証券受入金                   | 436,523                | 436,523    | —          |
| (4) 預り金                          | 8,181,015              | 8,181,015  | —          |
| (5) 受入保証金                        | 537,074                | 537,074    | —          |
| (6) 短期社債                         | 3,000,000              | 3,000,000  | —          |
| (7) 短期借入金                        | 11,668,528             | 11,668,528 | —          |
| (8) 社債<br>(1年内償還予定を含む)           | 4,000,000              | 4,006,936  | 6,936      |
| (9) 長期借入金<br>(1年内返済予定を含む)        | 12,102,842             | 12,102,165 | △677       |
| (10) ノンリコース長期借入金<br>(1年内返済予定を含む) | 1,106,240              | 1,106,240  | —          |
| 負債計                              | 41,761,451             | 41,767,710 | 6,259      |

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

#### 資 産

(1) 現金及び預金、(2) 預託金、(3) トレーディング商品(資産)、(6) 差入保証金

これらはすべて短期であるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 信用取引貸付金

信用取引貸付金の時価については、最長6ヶ月が返済期間であるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 信用取引借証券担保金

信用取引借証券担保金の時価については、毎日、㈱東京証券取引所等の取引所における最終価格で洗替え差額決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(7) 投資有価証券

投資有価証券の時価については、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。なお、時価を把握することが極めて困難と認められる投資有価証券については、上表に含めておりません。

#### 負 債

(1) トレーディング商品(負債)、(4) 預り金、(5) 受入保証金、(6) 短期社債、(7) 短期借入金

これらはすべて短期であるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 信用取引借入金

信用取引借入金の時価については、毎日、㈱東京証券取引所等の取引所における最終価格で洗替え差額決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 信用取引貸証券受入金

信用取引貸証券受入金の時価については、最長6ヶ月が返済期間であるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) 社債(1年内償還予定を含む)

社債の時価については、元利金の合計額を同様の新規社債を発行した場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(9) 長期借入金(1年内返済予定を含む)

長期借入金のうち変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を、新規の借入において想定される利率により割り引いて時価を算定しております。

(10) ノンリコース長期借入金(1年内返済予定を含む)

ノンリコース長期借入金の時価については、約定金利が変動金利であり、短期間で市場金利を反映するため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 非上場株式等(連結貸借対照表計上額720,018千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「資産(7)投資有価証券」には含めておりません。

## (賃貸等不動産に関する注記)

## (1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社グループは、東京都及びその他の地域において賃貸に供している物件を保有しております。

## (2) 賃貸等不動産の時価に関する事項

| 連結貸借対照表計上額 (千円) |                |                 | 当連結会計年度末<br>時価<br>(千円) |
|-----------------|----------------|-----------------|------------------------|
| 当連結会計年度<br>期首残高 | 当連結会計年度<br>増減額 | 当連結会計年度<br>期末残高 |                        |
| 2,198,461       | △1,209,723     | 988,737         | 1,255,372              |

(注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額です。

2. 当連結会計年度の主な増加額は、新規取得による増加 (611,569千円) であり、主な減少額は、不動産の売却 (1,133,548千円)、減価償却 (58,392千円) 及び保有目的の変更による販売用不動産への振替 (629,351千円) によるものです。

3. 期末の時価は、不動産鑑定士による不動産鑑定書の鑑定評価額、「不動産鑑定評価基準」及び「固定資産税評価額」に準じ自社で算定した金額 (指標等を用いて調整を行ったものを含む。) です。

## (1 株当たり情報に関する注記)

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 1 株当たり純資産額          | 426円26銭 |
| 1 株当たり当期純利益         | 46円40銭  |
| 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益 | 45円72銭  |

## (重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部         |                   | 負 債 の 部                |                   |
|-----------------|-------------------|------------------------|-------------------|
| 科 目             | 金 額               | 科 目                    | 金 額               |
| <b>流 動 資 産</b>  | <b>3,313,544</b>  | <b>流 動 負 債</b>         | <b>5,383,309</b>  |
| 現金及び預金          | 2,065,645         | 未払費用                   | 6,263             |
| 前払費用            | 65,816            | 未払法人税等                 | 14,131            |
| 関係会社未収金         | 516,963           | 関係会社未払金                | 43,026            |
| 販売用不動産          | 216,490           | 1年内返済予定の長期借入金          | 11,508            |
| 未収還付法人税等        | 217,747           | 短期社債                   | 3,000,000         |
| その他             | 230,882           | 1年内償還予定の社債             | 1,000,000         |
| <b>固 定 資 産</b>  | <b>18,387,238</b> | 関係会社仮受金                | 1,260,899         |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>38,093</b>     | その他                    | 47,479            |
| 建物              | 20,105            | <b>固 定 負 債</b>         | <b>5,413,061</b>  |
| その他             | 17,987            | 役員株式給付引当金              | 600,635           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>3,260</b>      | 長期借入金                  | 1,705,066         |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>18,345,884</b> | 社債                     | 3,000,000         |
| 投資有価証券          | 435,585           | その他                    | 107,359           |
| 関係会社株式          | 11,278,990        | <b>負 債 合 計</b>         | <b>10,796,370</b> |
| 関係会社出資金         | 3,358,437         | <b>純 資 産 の 部</b>       |                   |
| 関係会社長期貸付金       | 3,140,855         | <b>株 主 資 本</b>         | <b>10,912,336</b> |
| 貸倒引当金           | △183,791          | 資本金                    | 5,665,452         |
| 繰延税金資産          | 187,651           | 資本剰余金                  | 3,672,928         |
| 敷金及び保証金         | 103,666           | 資本準備金                  | 2,797,125         |
| その他             | 24,488            | その他資本剰余金               | 875,803           |
| <b>資 産 合 計</b>  | <b>21,700,782</b> | <b>利 益 剰 余 金</b>       | <b>2,574,993</b>  |
|                 |                   | 利益準備金                  | 120,704           |
|                 |                   | その他利益剰余金               | 2,454,289         |
|                 |                   | 繰越利益剰余金                | 2,454,289         |
|                 |                   | <b>自 己 株 式</b>         | <b>△1,001,037</b> |
|                 |                   | 評価・換算差額等               | △7,924            |
|                 |                   | その他有価証券評価差額金           | △7,924            |
|                 |                   | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>10,904,411</b> |
|                 |                   | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>21,700,782</b> |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

( 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで )

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額       | 額         |
|--------------|-----------|-----------|
| 営業収益         |           | 1,606,953 |
| 受取配当金        | 1,500,000 |           |
| 不動産事業売上高     | 105,753   |           |
| その他の         | 1,200     |           |
| 売上原価         |           | 126,353   |
| 営業収益         |           | 1,480,600 |
| 営業費用         |           | 580,068   |
| 販売費及び一般管理費   | 580,068   |           |
| 営業利益         |           | 900,531   |
| 営業外収益        |           | 883,179   |
| 匿名組合利益       | 834,834   |           |
| 受取利息         | 14,363    |           |
| その他の         | 33,982    |           |
| 営業外費用        |           | 525,837   |
| 支払利息         | 141,108   |           |
| 支払手数料        | 158,443   |           |
| 社債発行費        | 66,570    |           |
| 匿名組合損失       | 18,280    |           |
| 貸倒引当金繰入      | 121,291   |           |
| その他の         | 20,142    |           |
| 経常利益         |           | 1,257,874 |
| 特別損失         |           | 52,819    |
| 投資有価証券評価損    | 52,819    |           |
| 税引前当期純利益     |           | 1,205,054 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △227,281  |           |
| 法人税等調整額      | △52,074   |           |
| 法人税等合計       |           | △279,355  |
| 当期純利益        |           | 1,484,410 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

招集し通知

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

## 株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から  
2020年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本   |           |                      |             |           |                             |             |            | 自己株式       | 株主資本<br>合計 |
|-------------------------|-----------|-----------|----------------------|-------------|-----------|-----------------------------|-------------|------------|------------|------------|
|                         | 資本金       | 資 本 剰 余 金 |                      |             | 利 益 剰 余 金 |                             |             | 自己株式       |            |            |
|                         |           | 資本準備金     | その<br>他<br>資本<br>剰余金 | 資本剰余金<br>合計 | 利益準備金     | その他利益<br>剰余金<br>繰越利益<br>剰余金 | 利益剰余金<br>合計 |            |            |            |
| 当 期 首 残 高               | 5,492,516 | 2,624,189 | 882,810              | 3,506,999   | 120,704   | 1,522,089                   | 1,642,793   | △835,092   | 9,807,217  |            |
| 当 期 変 動 額               |           |           |                      |             |           |                             |             |            |            |            |
| 新 株 の 発 行               | 172,935   | 172,935   |                      | 172,935     |           |                             |             |            | 345,871    |            |
| 剰余金の配当                  |           |           |                      |             |           | △552,211                    | △552,211    |            | △552,211   |            |
| 当 期 純 利 益               |           |           |                      |             |           | 1,484,410                   | 1,484,410   |            | 1,484,410  |            |
| 自己株式の取得                 |           |           |                      |             |           |                             |             | △210,542   | △210,542   |            |
| 自己株式の処分                 |           |           | △7,006               | △7,006      |           |                             |             | 44,597     | 37,590     |            |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額(純額) |           |           |                      |             |           |                             |             |            |            |            |
| 当 期 変 動 額 合 計           | 172,935   | 172,935   | △7,006               | 165,928     | -         | 932,199                     | 932,199     | △165,945   | 1,105,118  |            |
| 当 期 末 残 高               | 5,665,452 | 2,797,125 | 875,803              | 3,672,928   | 120,704   | 2,454,289                   | 2,574,993   | △1,001,037 | 10,912,336 |            |

|                         | 評価・換算差額等         |                        | 新株予約権   | 純資産合計      |
|-------------------------|------------------|------------------------|---------|------------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 評 価 ・ 換 算<br>差 額 等 合 計 |         |            |
| 当 期 首 残 高               | △37,761          | △37,761                | 20,612  | 9,790,067  |
| 当 期 変 動 額               |                  |                        |         |            |
| 新 株 の 発 行               |                  |                        |         | 345,871    |
| 剰余金の配当                  |                  |                        |         | △552,211   |
| 当 期 純 利 益               |                  |                        |         | 1,484,410  |
| 自己株式の取得                 |                  |                        |         | △210,542   |
| 自己株式の処分                 |                  |                        |         | 37,590     |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額(純額) | 29,837           | 29,837                 | △20,612 | 9,225      |
| 当 期 変 動 額 合 計           | 29,837           | 29,837                 | △20,612 | 1,114,343  |
| 当 期 末 残 高               | △7,924           | △7,924                 | -       | 10,904,411 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

## 1. 資産の評価基準及び評価方法

## (1) 有価証券

子会社及び関連会社株式……………移動平均法による原価法を採用しております。

その他有価証券（関係会社出資金含む）

時価のあるもの……………事業年度の末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。  
 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの……………移動平均法による原価法を採用しております。

なお、投資事業有限責任組合等への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とした持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

## (2) たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産

販売用不動産……………個別法による原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）  
 によっております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定率法によっております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに  
 2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物につきましては、定額法によっております。

## (2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については社内における利用可能期間  
 (5年) に基づく定額法によっております。

## 3. 引当金の計上基準

## (1) 貸倒引当金……………

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上してあります。

## (2) 役員株式給付引当金……………

役員報酬の支給に備えるため、将来の株式給付見込額のうち当事業年度において負担すべき額を計上してあります。

## 4. 重要な繰延資産の処理方法

社債発行費については、支出時に全額費用として処理してあります。

## 5. 重要な外貨建ての資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理してあります。

## 6. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

## (1) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用してあります。

## (2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用してあります。

(追加情報)

連結注記表の(追加情報)に記載のとおりであります。

(貸借対照表に関する注記)

(1)有形固定資産の減価償却累計額 26,602千円

(2)担保提供資産及び対応債務

①担保に供している資産

販売用不動産 216,490千円

計 216,490千円

②担保に係る債務

1年内返済予定長期借入金 11,508千円

長期借入金 205,066千円

計 216,574千円

(3)保証債務

以下の関係会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

E Wアセットマネジメント(株) 300,665千円

計 300,665千円

(4)関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 113,088千円

長期金銭債権 13,927千円

短期金銭債務 9,535千円

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引

営業取引

受取配当金 1,500,000千円

不動産事業売上高 105,202千円

営業収益 その他 1,200千円

営業取引以外

匿名組合利益 834,834千円

社債発行費 60,000千円

支払手数料 158,333千円

匿名組合損失 18,280千円

貸倒引当金繰入額 121,291千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

自己株式の数に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首の株式数 | 当事業年度増加株式数 | 当事業年度減少株式数 | 当事業年度末の株式数 |
|-------|-------------|------------|------------|------------|
| 普通株式  | 2,174,141株  | 566,724株   | 119,809株   | 2,621,056株 |

- (注) 1. 普通株式の自己株式の株式数の増加は、E S O P信託口及びB B T信託口による取得であります。  
2. 普通株式の自己株式の株式数の減少は、E S O P信託口及びB B T信託口から役員への株式給付によるものであります。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

|              |            |
|--------------|------------|
| 繰越欠損金        | 382,178千円  |
| 役員株式給付引当金    | 183,914千円  |
| 関係会社株式       | 45,874千円   |
| 貸倒引当金        | 56,277千円   |
| その他          | 65,179千円   |
| 繰延税金資産小計     | 733,424千円  |
| 評価性引当額       | △544,373千円 |
| 繰延税金資産合計     | 189,050千円  |
| 繰延税金負債       |            |
| その他有価証券評価差額金 | 1,391千円    |
| その他          | 7千円        |
| 繰延税金負債合計     | 1,398千円    |
| 繰延税金資産の純額    | 187,651千円  |

招集し通知

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

## (関連当事者との取引に関する注記)

## 1. 子会社及び関連会社

| 属性  | 会社等の名称           | 議決権等の<br>所有(被所有)<br>割合 | 関連当事者<br>との関係 | 事業の内容        | 取引の内容                  | 取引金額<br>(千円) | 科目            | 期末残高<br>(千円) |
|-----|------------------|------------------------|---------------|--------------|------------------------|--------------|---------------|--------------|
| 子会社 | あかつき証券(株)        | (所有)<br>直接<br>100.0%   | 役員の兼任         | 証券業          | 連結納税に<br>伴う受取予<br>定額   | 135,850      | 関係会社<br>未収入金  | 135,850      |
|     |                  |                        |               |              | 社債発行費<br>の支払<br>(注1)   | 60,000       | -             | -            |
|     |                  |                        |               |              | 社債関連手<br>数料の支払<br>(注1) | 158,333      | 前払費用          | 45,533       |
| 子会社 | (株)あかつき投資        | (所有)<br>直接<br>100.0%   | 役員の兼任         | 投資事業         | 資金の貸付<br>(注2)          | 2,500,000    | 関係会社<br>長期貸付金 | 2,500,000    |
| 子会社 | (株)あかつき<br>キャピタル | (所有)<br>直接<br>100.0%   | 役員の兼任         | 投資事業         | 資金の貸付<br>(注2)          | 195,000      | 関係会社<br>長期貸付金 | 423,855      |
|     |                  |                        |               |              | 資金の回収<br>(注2)          | 271,444      |               |              |
| 子会社 | (株)マイプレイス        | (所有)<br>間接<br>100.0%   | 役員の兼任         | 不動産事業        | 連結納税に<br>伴う受取予<br>定額   | 324,497      | 関係会社<br>未収入金  | 324,497      |
|     |                  |                        |               |              | 受取配当金                  | 1,500,000    | -             | -            |
| 子会社 | 合同会社さつき          | (所有)<br>直接<br>100.0%   | 出資            | 高齢者住宅<br>の開発 | 資金の受入                  | 1,298,899    | 関係会社<br>仮受金   | 1,260,899    |

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 社債発行費用、社債関連手数料につきましては、独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件により行っております。
2. 資金の貸付につきましては、他の金融機関との取引と同様、一般的な借入条件により行っております。なお、取引に係る利息につきましては、無利息としております。
3. 子会社への貸倒懸念債権等に対し、合計183,791千円の貸倒引当金を計上しており、当事業年度において合計121,291千円の貸倒引当金繰入額を計上しております。
4. 上記取引金額には消費税等が含まれておりません。

## 2. 役員及び個人主要株主等

| 種類     | 氏名              | 議決権等の所有<br>(被所有)割合          | 関連当事者<br>との関係 | 取引の内容          | 取引金額<br>(千円) | 科目        | 期末残高<br>(千円) |
|--------|-----------------|-----------------------------|---------------|----------------|--------------|-----------|--------------|
| 当社の役員  | 島根 秀明           | (被所有)<br>直接 1.1%<br>間接 4.9% | 当社<br>取締役     | 予約権の行使<br>(注1) | 62,570       | —         | —            |
| 当社の役員  | 濱岡 洋一郎          | (被所有)<br>直接 0.2%            | 当社<br>取締役     | 予約権の行使<br>(注1) | 19,760       | —         | —            |
| 当社の役員  | 工藤 英人           | (被所有)<br>直接 0.8%<br>間接 2.5% | 当社<br>取締役     | 予約権の行使<br>(注1) | 59,196       | —         | —            |
| 当社の役員  | 小林 祐介           | (被所有)<br>直接 2.0%<br>間接 0.5% | 当社<br>取締役     | 予約権の行使<br>(注1) | 25,018       | —         | —            |
| 当社の役員  | ドミニク・<br>ヘンダーソン | (被所有)<br>直接 0.1%            | 当社<br>取締役     | 予約権の行使<br>(注1) | 14,461       | —         | —            |
| 子会社の役員 | 加藤 高志           | (被所有)<br>直接 0.2%            | 当社子会社<br>取締役  | 予約権の行使<br>(注1) | 14,461       | —         | —            |
|        |                 |                             |               | 資金の貸付<br>(注2)  | 10,756       | 短期<br>貸付金 | 10,756       |
| 子会社の役員 | 上市園 悟           | (被所有)<br>直接 0.1%            | 当社子会社<br>取締役  | 予約権の行使<br>(注1) | 14,461       | —         | —            |
| 子会社の役員 | 延地 郁智           | (被所有)<br>直接 0.1%            | 当社子会社<br>取締役  | 予約権の行使<br>(注1) | 12,350       | —         | —            |
| 子会社の役員 | 八代 幹雄           | (被所有)<br>直接 0.1%            | 当社子会社<br>取締役  | 予約権の行使<br>(注1) | 12,350       | —         | —            |
| 子会社の役員 | 北野 道弘           | (被所有)<br>直接 0.3%            | 当社子会社<br>取締役  | 予約権の行使<br>(注1) | 14,461       | —         | —            |
| 子会社の役員 | 大内 裕人           | (被所有)<br>直接 0.1%            | 当社子会社<br>取締役  | 予約権の行使<br>(注1) | 12,350       | —         | —            |
|        |                 |                             |               | 資金の貸付<br>(注2)  | 12,350       | 短期<br>貸付金 | 12,350       |

(注) 1. 第7回新株予約権及び第2回新株予約権を権利行使したものであります。  
2. 資金の貸付につきましては、他の金融機関との取引と同様、一般的な借入条件により行っております。  
なお、取引に係る利息につきましては、市場金利を参考に決定しております。

## (1株当たり情報に関する注記)

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 1株当たり純資産額         | 347円18銭 |
| 1株当たり当期純利益        | 48円58銭  |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 47円87銭  |

## (重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2020年5月22日

株式会社あかつき本社  
取締役会 御中

海南監査法人  
東京都渋谷区

|                        |           |         |   |
|------------------------|-----------|---------|---|
| 指 定 社 員<br>業 務 執 行 社 員 | 公 認 会 計 士 | 齋 藤 勝   | Ⓔ |
| 指 定 社 員<br>業 務 執 行 社 員 | 公 認 会 計 士 | 溝 口 俊 一 | Ⓔ |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社あかつき本社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社あかつき本社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2020年5月22日

株式会社あかつき本社  
取締役会 御中

海南監査法人  
東京都渋谷区

|             |             |             |        |         |   |   |
|-------------|-------------|-------------|--------|---------|---|---|
| 指<br>業<br>指 | 定<br>社<br>業 | 員<br>執<br>行 | 公<br>認 | 齋 藤     | 勝 | Ⓔ |
| 業<br>指<br>業 | 定<br>社<br>業 | 員<br>執<br>行 | 公<br>認 | 溝 口 俊 一 |   | Ⓔ |

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社あかつき本社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第70期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査等委員会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2019年4月1日から2020年3月31日までの第70期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- (1) 監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- (2) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人海南監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人海南監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年5月25日

株式会社あかつき本社 監査等委員会

監査等委員 安東 恭一 ㊟

監査等委員 小西 克憲 ㊟

監査等委員 田名網 一嘉 ㊟

(注) 監査等委員安東恭一、小西克憲及び田名網一嘉は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に定める社外取締役であります。

以上

以上

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

#### 期末配当に関する事項

当社は、以下の基本方針のもと、配当支払いと自己株式取得により株主還元を行うものとしております。配当支払いについて、財務の安定と事業資金の確保に支障を来たさない限りにおいて、連結純資産配当率（DOE）\*で年間4%の水準を維持することに努めます。また、自己資本利益率（ROE）が4%を上回る場合に、その部分の利益についても株主還元の原因とし、その一部を追加の配当支払いや自己株式の取得に充当することとしております。

このような方針のもと、第70期の期末配当につきましては、以下のとおりといたします。なお、本議案承認により当該配当を行った場合、当事業年度の連結純資産配当率（DOE）は4.8%となります。

\* 連結純資産配当率（DOE）：

1株当たり年間配当金 ÷ 1株当たり連結純資産の期首・期末平均

1. 配当財産の種類  
金銭といたします。
2. 配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき11円といたしたいと存じます。  
なお、この場合の配当総額は、374,184,613円となります。
3. 剰余金の配当が効力を生じる日  
2020年6月29日といたしたいと存じます。

## 第2号議案 監査等委員でない取締役7名選任の件

監査等委員でない取締役全員（5名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、監査等委員でない取締役7名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案について、監査等委員会において検討がなされましたが、意見はございませんでした。

監査等委員でない取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                     | 略歴、地位及び担当ならびに<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 所有する当社<br>株式の数 |
|-------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1     | しまねひであき<br>島根秀明<br>(1965年11月27日) | 1989年4月 野村證券(株)入社<br>1996年10月 ソフトバンク(株)入社<br>2002年11月 Softbank Investment International<br>(Strategic) Ltd. 取締役執行役員 最高<br>財務責任者<br>2003年1月 ソフトバンク・インベストメント(株)執行<br>役員社長室長<br>2005年1月 SBIホールディングス(株)経営企画室長<br>2006年4月 トレード・サイエンス(株)取締役最高財務<br>責任者兼最高業務責任者<br>2010年1月 同社代表取締役社長<br>2010年10月 マネックスグループ(株)執行役員社長室室<br>長<br>2011年6月 当社取締役<br>2011年9月 あかつき証券(株)取締役<br>2011年10月 当社代表取締役会長<br>あかつき証券(株)代表取締役会長<br>2012年4月 当社代表取締役社長(現任)<br>2012年6月 ウェルス・マネジメント(株)取締役<br>2012年11月 あかつき証券(株)取締役(現任)<br>2013年6月 当社代表取締役社長執行役員<br>2014年10月 EWアセットマネジメント(株)取締役(現<br>任)<br>2016年2月 リードウェイ(株)取締役会長<br>2017年6月 (株)あかつき投資代表取締役(現任)<br>2017年7月 (株)トータルエステート(現(株)マイプレイ<br>ス)代表取締役会長<br>(株)トータルテック(現(株)バウテック)取<br>締役(現任)<br>2017年11月 (株)マイトランク取締役(現任)<br>2018年12月 (株)トータルエステート(現(株)マイプレイ<br>ス)代表取締役会長(現任)<br>2019年7月 当社代表取締役社長執行役員CEO(現<br>任)<br>リードウェイ(株)代表取締役社長(現任)<br>2019年9月 ジャパンウェルスアドバイザーズ(株)取締<br>役(現任)<br>2019年12月 (株)テッククリエイト取締役(現任) | 2,039,800株     |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>( 生 年 月 日 )                          | 略 歴、 地 位 及 び 担 当 な ら び に<br>重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2         | はま おか よう いち ろう<br>濱 岡 洋 一 郎<br>(1953年9月24日) | 1976年4月 三井不動産(株)入社<br>2000年4月 ジョーンズラングラサール(株)代表取締役<br>社長<br>2012年4月 同社取締役会長<br>2012年7月 NSホールディングス(株)代表取締役<br>(株)トータルエステート (現 (株)マイプレイ<br>ス) 取締役 (現任)<br>2012年11月 日本プロロジスリート投資法人監督役員<br>(現任)<br>EWアセットマネジメント(株)代表取締役<br>(現任)<br>2013年6月 ウェルス・マネジメント(株)監査役<br>2014年5月 当社顧問<br>2014年6月 ウェルス・マネジメント(株)取締役<br>2015年6月 (株)トータルテック (現 (株)バウテック) 監<br>査役<br>(株)トータルエステート住宅販売 (現 (株)マ<br>イプランナー) 監査役<br>2016年6月 当社取締役<br>2017年3月 当社取締役会長 (現任)<br>2017年7月 (株)トータルテック (現 (株)バウテック) 取<br>締役 (現任) | 80,000株        |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)           | 略歴、地位及び担当ならびに<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 所有する当社<br>株式の数 |
|-------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3     | 工藤 英人<br>(1964年12月19日) | 1987年4月 東洋信託銀行(株)入行<br>1997年4月 ソフトバンク(株)入社<br>1999年4月 イー・トレード(株)取締役<br>2000年5月 同社常務取締役<br>2003年11月 同社取締役<br>ワールド日栄証券(株)顧問<br>2003年12月 同社専務取締役<br>2004年2月 ワールド日栄フロンティア証券(株)専務取<br>締役<br>2005年6月 同社代表取締役副社長兼COO<br>2008年3月 黒川木徳証券(株)専務取締役<br>2008年6月 同社取締役専務執行役員<br>2010年3月 当社執行役員<br>2010年10月 当社代表取締役会長CEO<br>黒川木徳証券(株)専務取締役<br>2011年2月 当社代表取締役社長<br>黒川木徳証券(株)取締役<br>2011年6月 豊商事(株)取締役<br>2012年4月 当社取締役(現任)<br>あかつき証券(株)代表取締役社長(現任)<br>2012年6月 ウェルス・マネジメント(株)取締役<br>2016年2月 リードウェイ(株)取締役<br>2017年6月 (株)あかつき投資取締役(現任)<br>2017年7月 (株)トータルエステート(現(株)マイプレイ<br>ス)取締役(現任)<br>(株)トータルテック(現(株)バウテック)取<br>締役(現任)<br>2018年5月 リードウェイ(株)代表取締役会長<br>2019年7月 当社取締役執行役員COO(現任)<br>2019年9月 ジャパンウェルズアドバイザーズ(株)取締<br>役(現任) | 1,109,800株     |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                                        | 略歴、地位及び担当ならびに<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する当社<br>株式の数 |
|-------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4     | こばやし ゆう すけ<br>小 林 祐 介<br>(1972年8月14日)<br><b>社 外</b> | 1996年4月 イマジニア㈱入社<br>1996年9月 ソフトバンク㈱入社<br>1998年5月 (有)コミュニケーションオンライン設立<br>同社取締役<br>1999年7月 ㈱コミュニケーションオンラインに商号<br>変更<br>同社代表取締役社長<br>1999年9月 インターネットコム㈱取締役社長<br>2002年10月 ㈱アエリア設立<br>同社代表取締役社長(現任)<br>2005年12月 ㈱アエリアファイナンス取締役<br>2006年8月 Aeria Games & Entertainment, Inc.<br>取締役<br>2008年12月 ㈱スリーエス取締役<br>2009年4月 ㈱コーポレートファイナンスパートナ<br>ズ・アジア代表取締役<br>㈱スリーエス代表取締役<br>2009年6月 当社社外取締役(現任)<br>2010年1月 ㈱アクワイア取締役<br>2011年12月 Aeria America Inc.取締役(現任)<br>2012年7月 GUI YOU Information Technology<br>Ltd.取締役<br>2014年7月 ㈱ソアラボ代表取締役(現任)<br>2014年12月 ㈱ガマニアデジタルエンターテイメント<br>(現 ㈱エイジ) 監査役<br>2017年4月 ㈱エンパシーゲームズ代表取締役(現<br>任)<br>2017年8月 ㈱Impression取締役(現任)<br>2017年9月 Twist㈱代表取締役(現任)<br>㈱アエリア投資式号代表取締役(現任)<br>㈱トータルマネージメント取締役(現<br>任)<br>2019年1月 ㈱アリスマティック取締役(現任) | 666,900株       |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                                    | 略歴、地位及び担当ならびに<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 所有する当社<br>株式の数 |
|-------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 5     | み 三 さわ 澤 あきら 章<br>(1961年6月13日)<br><b>新任</b>     | 1985年4月 (株)長谷川工務店(現(株)長谷エコーポレーション)入社<br>2000年12月 ジョーンズラングラサール(株)入社<br>2007年5月 (株)トータルエステート(現(株)マイプレイス)取締役<br>2010年8月 (株)エム・エムコーポレーション(現(株)マイプランナー)取締役(現任)<br>2018年6月 (株)トータルエステート(現(株)マイプレイス)代表取締役社長(現任)<br>2019年6月 (株)トータルテック(現(株)バウテック)取締役(現任)                                                                                                                          | —              |
| 6     | きた の みち ひろ 北 野 道 弘<br>(1976年8月14日)<br><b>新任</b> | 2000年4月 当社入社<br>2014年8月 (株)マイトランク取締役(現任)<br>2014年10月 EWアセットマネジメント(株)取締役(現任)<br>2016年2月 リードウェイ(株)取締役(現任)<br>2016年6月 ウェルス・マネジメント(株)取締役<br>2017年6月 (株)あかつき投資取締役(現任)<br>2017年7月 (株)トータルエステート(現(株)マイプレイス)取締役(現任)<br>(株)トータルテック(現(株)バウテック)取締役(現任)<br>(株)トータルエステート住宅販売(現(株)マイプランナー)取締役(現任)<br>2018年6月 当社執行役員社長室室長<br>2019年7月 当社執行役員社長室長兼総務部長(現任)<br>2019年10月 (株)テッククリエイイト取締役(現任) | 86,683株        |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                                              | 略歴、地位及び担当ならびに<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当社<br>株式の数 |
|-------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 7     | おし  うみ  こう  すけ<br>鷲  海  浩  介<br>(1978年6月14日)<br><b>新任</b> | 2002年4月  ㈱トライアルカンパニー入社<br>2008年12月  あずさ監査法人(現 有限責任あずさ監査法人) 入所<br>2013年3月  あかつき証券(株)入社<br>当社兼務<br>2014年8月  ㈱マイトランク監査役(現任)<br>2015年4月  ウェルス・マネジメント(株)総務部長兼経理部長兼務<br>2015年7月  当社転籍<br>2017年6月  ㈱あかつき投資取締役(現任)<br>2017年7月  ㈱トータルエステート(現 ㈱マイプレイス) 経理統括部長兼務<br>2017年8月  公認会計士登録<br>2018年6月  当社執行役員財務経理部長兼社長室室長(現任)<br>㈱トータルエステート(現 ㈱マイプレイス) 取締役(現任)<br>㈱トータルテック(現 ㈱パウテック) 取締役(現任)<br>2019年12月  ㈱テッククリエイイト監査役(現任) | 12,109株        |

- (注) 1. 現任の役職につきましては、下線を付しております。  
 2. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。  
 3. 小林祐介氏は社外取締役候補者であります。  
 4. 島根秀明、濱岡洋一郎、工藤英人、小林祐介の4氏は、現在当社の取締役であり、重要な兼職につきましては、事業報告の「2. 会社の現況 (3)会社社員の状況」(13頁～14頁)に記載のとおりであります。  
 5. 監査等委員でない取締役候補者とした理由は、以下のとおりであります。  
 (1)島根秀明氏は、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有し、現在、当社の代表取締役として当社グループの経営を牽引し、経営の重要事項の決定及び業務執行に対する監督など当社の企業価値向上に資するべく適切な役割を果たしております。これらのことから当社の取締役に相応しい人材であると判断し、引き続き取締役としての選任をお願いするものであります。  
 (2)濱岡洋一郎氏は、不動産業界における豊富な経験と不動産に関する幅広い見識を有し、現在、当社のグループ会社でありますEWアセットマネジメント(株)の代表取締役を務めております。これらのことから、今後、当社の経営への貢献が期待できると判断し、引き続き取締役としての選任をお願いするものであります。  
 (3)工藤英人氏は、当社の証券子会社の代表取締役をはじめ、証券業界での豊富な経営経験を有し、現在、当社の取締役として経営の重要事項の決定及び業務執行に対する監督など当社の企業価値向上に資するべく適切な役割を果たしております。これらのことから当社の取締役に相応しい人材であると判断し、引き続き取締役としての選任をお願いするものであります。

- (4)小林祐介氏は、これまで多くの企業経営に携わり、経営に関する高い見識を有し、現在当社社外取締役として、取締役会の監督機能の強化と透明性の確保に向け、適切な役割を果たしております。これらのことから当社の取締役に相応しい人材であると判断し、引き続き社外取締役としての選任をお願いするものであります。
- (5)三澤章氏は、不動産業界における豊富な経験と不動産に関する幅広い見識を有し、現在、当社のグループ会社であります㈱マイプレイスの代表取締役を務めております。これらのことから、今後、当社の経営への貢献が期待できると判断し、新たに取締役に選任をお願いするものであります。
- (6)北野道弘氏は、現在当社の執行役員社長室長兼総務部長として、経営企画及び子会社管理などに関する業務執行を担当し企業価値向上に資するべく適切な役割を果たしております。これらのことから当社の取締役に相応しい人材であると判断し、新たに取締役に選任をお願いするものであります。
- (7)鷺海浩介氏は、公認会計士の資格を有し、現在、当社の執行役員財務経理部長としてグループ全体の財務企画・管理に関する業務執行を担当し企業価値向上に資するべく適切な役割を果たしております。これらのことから当社の取締役に相応しい人材であると判断し、新たに取締役に選任をお願いするものであります。
6. 島根秀明氏の所有する株式の数には、資産管理会社であります㈱松栄管理において保有する株式の数を含みます。
7. 工藤英人氏の所有する株式の数には、資産管理会社であります㈱工藤アセットマネジメントにおいて保有する株式の数を含みます。
8. 小林祐介氏の当社の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって11年となります。
9. 当社は小林祐介氏との間で、当社定款及び会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に定める損害賠償責任を法令が定める額に限定する契約を締結しており、同氏の再任が承認された場合には、当該契約を継続する予定であります。

### 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役全員（3名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、監査等委員である取締役3名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案について、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                                          | 略歴、地位及び担当ならびに<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する当社<br>株式の数 |
|-------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1     | あん どう きょう いち<br>安 東 恭 一<br>(1965年4月28日)<br><b>社 外</b> | 2002年11月 司法試験合格<br>2004年10月 東京弁護士会弁護士登録<br>さくら共同法律事務所アソシエイト<br>2005年10月 安東総合法律事務所開設<br>同所パートナー<br>2006年9月 霞が関法律会計事務所（現 新霞が関総合<br>法律事務所）パートナー（現任）<br>2010年4月 東京弁護士会弁護士倫理特別委員会副委<br>員長<br>2012年6月 当社社外監査役<br>2014年6月 当社社外取締役<br>2018年6月 当社社外取締役（監査等委員）（現任）                                                                     | —              |
| 2     | こ にし かつ のり<br>小 西 克 憲<br>(1945年11月1日)<br><b>社 外</b>   | 1969年4月 東洋信託銀行(株)入行<br>1997年6月 同社取締役本店営業本部第1部長<br>1999年6月 同社常務取締役総合企画部長<br>2001年4月 (株)UFJホールディングス常務執行役員<br>2002年1月 同社専務執行役員<br>UFJ信託銀行(株)取締役<br>2003年6月 日本マスタートラスト信託銀行(株)代表取<br>締役副社長<br>2006年6月 三菱UFJトラストビジネス(株)監査役<br>2009年5月 IBS証券(株)取締役最高顧問<br>2011年6月 当社社外監査役<br>2012年6月 あかつき証券(株)監査役（現任）<br>2018年6月 当社社外取締役（監査等委員）（現任） | —              |

| 候補者<br>番号 | 氏名<br>(生年月日)                                        | 略歴、地位及び担当ならびに<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3         | たなあみ かず よし<br>田名網 一 嘉<br>(1969年10月15日)<br><b>社外</b> | 1992年4月 シティバンク、エヌ・エイ東京支店入行<br>1997年9月 山田&パートナーズ会計事務所入所<br>2003年1月 優成監査法人入所<br>2004年6月 (株)アエリア社外監査役(現任)<br>2005年12月 (株)アエリアファイナンス監査役<br>2006年10月 (株)アエリアIPM監査役<br>2007年3月 (株)ゲームポット監査役<br>2008年6月 黒川木徳証券(株)監査役<br>2008年11月 (株)アクワイア監査役<br>2009年3月 (株)エアネット監査役(現任)<br>2009年4月 (株)コーポレートファイナンスパートナ<br>ズ・アジア監査役<br>2009年6月 当社社外監査役<br>2014年12月 (株)ガマニアデジタルエンターテイメント<br>(現(株)エイジ)監査役(現任)<br>2015年6月 (株)リベル・エンタテインメント監査役(現<br>任)<br>2015年10月 (株)アスガルド監査役(現任)<br>2015年11月 (株)ファーストペンギン監査役(現任)<br>2017年6月 (株)アリスマティック監査役(現任)<br>2017年8月 (株)Impression監査役(現任)<br>2017年9月 (株)アエリア投資式号監査役(現任)<br>2018年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)<br>(株)サイバード監査役 | —              |

招集通知

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

- (注) 1. 2018年6月28日開催の定時株主総会において、定款の変更が決議されたことにより、当社は同日付をもって監査等委員会設置会社に移行しております。
2. 現任の役職につきましては、下線を付しております。
3. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
4. 安東恭一、小西克憲、田名網一嘉の3氏は、社外取締役候補者であります。3氏は、2018年6月28日開催の定時株主総会決議における監査等委員会設置会社への移行に伴い、監査等委員取締役に選任されましたが、2018年6月28日以前は、安東恭一氏は当社の社外取締役、小西克憲氏及び田名網一嘉氏は当社の社外監査役でありました。
5. 安東恭一、小西克憲、田名網一嘉の3氏は、現在当社の取締役であり、重要な兼職につきましては、事業報告の「2. 会社の現況 (3)会社役員状況」(13頁～14頁)に記載のとおりであります。
6. 監査等委員である社外取締役候補者とした理由は、以下のとおりであります。
- (1)安東恭一氏は、直接会社経営に関与された経験はありませんが、弁護士としての高度な法律知識と幅広い見識を有しているため、監査等委員である社外取締役として適任であると判断し、選任をお願いするものであります。
- (2)小西克憲氏は、金融機関における長年の経験と財務等に関する豊富な見識を有しているため、監査等委員である社外取締役として適任であると判断し、選任をお願いするものであります。
- (3)田名網一嘉氏は、直接会社経営に関与された経験はありませんが、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しているため、監査等委員である社外取締役として適任であると判断し、選任をお願いするものであります。
7. 安東恭一氏の当社の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって6年となります。小西克憲氏及び田名網一嘉氏の当社の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって2年となります。
8. 当社は、安東恭一氏、小西克憲氏及び田名網一嘉氏との間で、当社定款及び会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に定める損害賠償責任を法令が定める額に限定する契約を締結しており、3氏の再任が承認された場合には、当該契約を継続する予定であります。
9. 当社は、安東恭一氏及び田名網一嘉氏を㈱東京証券取引所が定める独立役員として届け出ております。なお、両氏の再任が承認された場合には、引き続き独立役員とする予定であります。

以上

メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing, starting from the line below the header and extending down the page.





# 株主総会会場ご案内図

東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号  
東京証券会館9階 会議室  
TEL 03-3667-9210



## 交通機関

- 東京メトロ日比谷線・東西線 茅場町駅（8番出口より直結）
- 東京メトロ銀座線・東西線、都営地下鉄浅草線  
日本橋駅（D2出口）より徒歩5分



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。